

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会

1. 地域福祉活動

- (1) 小地域ネットワーク活動推進事業 P 3
- (2) 地域福祉ワークショップ事業 P 4
- (3) 地域福祉人材育成事業 P 4
- (4) かわちながのボランティア・市民活動センター事業 P 8
- (5) 地域力強化推進事業 P 10
- (6) 高齢者生活支援体制整備事業の推進 P 11
- (7) 社会福祉施設連絡会との連携 P 12
- (8) 共同募金運動による財源確保および地域支援 P 13
- (9) 福祉団体支援事業 P 13
- (10) 災害ボランティアセンター運営事業 P 13
- (11) 福祉車両および車いすの貸出し P 15

2. 相談支援活動

- (1) 多機関協働による包括的相談支援体制整備事業 P 15
- (2) 地域相談支援員の配置 P 16
- (3) 障がい者生活支援事業（ピアセンターかわちながの） P 18
- (4) 心配ごと相談所の開設 P 21
- (5) 日常生活自立支援事業 P 21
- (6) 生活困窮者家計改善支援事業 P 21
- (7) 生活福祉資金貸付事業 P 22
- (8) 緊急小口資金等特例貸付の借受人へのフォローアップ支援事業 . . P 23

3. 福祉サービス提供

- (1) 障がい者就労支援事業 P 23
- (2) 居宅介護支援事業 P 24
- (3) 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業 P 24
- (4) 障がい者総合支援事業 P 25
- (5) 生活応援サービス（制度外サービス） P 25
- (6) 受託事業 P 25
- (7) 総合的事業 P 26

4. 施設管理運営

- (1) 市立福祉センター「キタバ錦溪苑」管理運営事業 P 28
- (2) 市立障がい者福祉センター「あかみね」デイサービス事業 P 35
- (3) 市立障がい者福祉センター「あかみね」
生活介護・通所介護事業 P 38

5. 法人運営

- (1) 三役会・理事会・評議員会および委員会の開催と監事監査の実施 . P 40
- (2) 理事・評議員研修の実施 P 42

(3) 大阪府社協および大阪府市町村社協連合会、 河南ブロック市町村社協連絡会への参加および連携	P 4 2
(4) 社会福祉施設連絡会との協働	P 4 6
(5) 組織構成会員制の推進	P 4 6
(6) 賛助会員制の推進	P 4 7
(7) 広告料収入の増強	P 4 8
(8) 善意銀行	P 4 8
(9) 福祉基金事業	P 4 8
(10) 広報啓発事業	P 4 8
(11) 福祉人材の確保および人材育成	P 4 9
(12) 人事・労務管理の充実	P 5 1
(13) 社協運営基盤の強化・拡大	P 5 1

事業報告書

人口減少社会が到来し、家族間や地域における支え合い機能が急速に変化する中、従来の福祉課題に加え、ヤングケアラーなど新たな課題も明らかになっている。また新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、経済・社会活動の制限が長期化したことで、より深刻な生活困窮に直面する人びとが急増しており、今後の自立に向けた支援の構築が急務となっている。加えて頻発する大規模な自然災害への福祉的対応の強化も求められるなど、地域福祉を取り巻く環境は今まで経験したことのない大きな変化に直面している。

そのような中、改正社会福祉法に基づき、地域住民が抱える困難な問題をワンストップで受け止める「包括的な支援体制」の整備が進められており、河内長野市社会福祉協議会（以下、「社協」という。）は、地域福祉推進の中核機関として、複雑化・複合化した地域生活課題へ対応するために、民生委員・児童委員、福祉委員、社会福祉法人・福祉施設等とより一層の連携・協働を図るとともに、保健・医療・教育・司法関係者や企業・NPO・ボランティア等の多様な組織・関係者との重層的かつ機能的な連携を図った。

令和5年度は、コロナ禍により顕在化した生活・福祉課題への対応、とくに特例貸付に係る償還業務や貸付世帯へのフォローアップ業務の長期的な対応も含め、相談支援を進めた。

さらに、認知症や障がいにより判断能力が十分でない状態であっても、日常生活上で不利益を受けることなく、その人らしい生活を送ることができるよう権利擁護の取り組みを推進するため、行政を主体とする総合的な権利擁護・相談支援体制の確立に向けた取り組みを行った。

一方、指定管理者制度に伴う事業においては、第4期2年目指定管理事業者として、利用者本位の地域に密着したサービスの提供やさらなる事業の展開やサービスの向上に努めた。

併せて、河内長野市の「思いやりとぬくもりのある人権尊重のまちづくり条例」に基づき、社会による排除や摩擦、偏見や孤立などをなくし、すべての住民が一人の人間として尊重され、共に支え合いながら安心して暮らせる持続可能な地域社会の実現をめざし、令和5年度は以下のような事業を展開した。

1. 地域福祉活動

(1) 小地域ネットワーク活動推進事業

① 小地域活動推進事業の実施

地域で安心して孤立することなく暮らせるよう地域での活動を支援した。

- ・ 個別援助活動（見守り声かけ訪問活動、電話での安否確認など）
- ・ グループ援助活動（高齢者や子育て世帯対象のサロン活動や地域リハビリ活動、世代間交流活動など）
- ・ 福祉委員会活動（福祉委員、協力員の研修会、広報紙の作成など）

② ネットワーク推進事業（福祉委員会委員長連絡会）の実施

各地域での福祉委員会活動における情報交換など定例会議を6回開催した。

③地区(校区)福祉委員会支援事業の実施

福祉委員会などによる地域の交流の場などグループ援助活動の充実につなげるための支援を行った。

④活動拠点支援事業の実施

助成した福祉委員会数	主な活動	開催回数	助成した金額(円)
6	・ 定例会議、総会 ・ 研修会 ・ サロン	126	78,100

(2) 地域福祉ワークショップ事業

①地域福祉啓発事業(講師派遣事業)

校区数	回数	参加人数	主なテーマ
15	22	729	「社会福祉施設と福祉委員会の連携について」 「防災について」 「福祉委員の役割・任務について」 「たすけあいの大切さ、有償ボランティア、居場所、移送サービスについて」 「～来て 見て わかって みんなの介護～」 「・貯筋のススメ・まちの薬剤師、薬局の使い方」 「地域福祉計画・地域福祉活動計画について」

②福祉委員等パワーアップ事業

研修・講座名	講師	参加人数	開催日 場所
新任福祉委員研修会	ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰 新崎国広 氏	110	6月25日・7月4日 キックス
食品衛生講習会	公益社団法人 大阪食品衛生協会 河合昭男 氏	24	7月13日 ゆいテラス
福祉委員交流会	日本音楽レ・クリエーション指導協会 橘 千鶴 氏 田倉みさ 氏	73	12月15日 ゆいテラス

(3) 地域福祉人材育成事業

①ボランティア育成事業の実施

○福祉教育の推進

・福祉学習サポーター

種類	団体名
当事者団体など	河内長野市視覚障害者福祉会 河内長野市身体障害者福祉会聴言部会 認知症キャラバンメイト ゆっくりいっぽ仲間会
ボランティア	手話サークルてのひら、手話サークルさくらんぼ、

	河内長野点訳サークル、個人登録福祉学習サポーター 民生委員・児童委員
施設等	社会福祉施設連絡会 (社会福祉法人みなと寮、社会福祉法人博光福祉会 寿里苑) 障がい者福祉センター「キタバあかみね」

・福祉学習サポーター活動状況(調整・紹介実績数:33件)

福祉学習プログラム名など ()内は内容	紹介先
講話と車いす介助体験を通して伝えたいこと (講話と車いす介助体験)	加賀田小5年生、高向小4年生、小山田小5年生、千代田小5年生、川上小5年生、天野小5年生、楠小5年生、美加の台小4年生
車いす利用者の講話	高向小4年生(学級閉鎖の為中止)
視覚障がいの理解のために (講話と視覚障がい者ガイドヘルプ・アイマスク体験)	高向小4年生、三日市小4年生、川上小3年生、天見小3年生、美加の台小5年生
視覚障がいの理解のために (点訳体験)	加賀田小4年生、三日市小4年生、小山田小4年生、川上小4年生、天野小4年生、南花台小4年生
聴覚障がいの理解のために (講話と手話体験)	加賀田小3年生、高向小3年生、三日市小5年生、石仏小4年生、川上小学校1・2年生、天見小1・2年生、天野小3年生、南花台小3年生、千代田中3年生
認知症キッズサポーター養成講座 (講話)	川上小6年生、天見小5・6年生
障がい者の理解(講話)と障がい者スポーツの体験	令和5年度は依頼なし。
地域福祉を知ろう「ほっとかへん!すごろく」で「ふ・く・し」を学ぶ(講話と体験)	令和5年度は依頼なし。
中途障がい者の理解のために (講話)	天野小6年生
視覚障がいの理解のために (講話)	高向小4年生

○ボランティア育成、講習会等

研修名	講師	参加人数	開催日 場所
ボランティア体験プログラム	—	317	8月21日~27日 ゆいテラス
傾聴ボランティア養成講座	特別養護老人ホーム 寿里苑 猫田侑希氏	48	10月5日、10月12日 ゆいテラス

河南ブロックボランティア連絡会交流会	河内長野市社会福祉協議会 事務局長 河浦和哉 氏	40	10月17日 ゆいテラス
要約筆記ボランティア講習会	要約筆記サークル「葉月」	5	11月18日、11月25日、 ゆいテラス
河内長野市ボランティア連絡会交流会	—	26	2月20日 ゆいテラス

○ボランティア相談の実施と活動コーディネート (単位:件)

内 容	令和5年度	令和4年度
活動希望などボランティアに関する相談	40	51
ボランティア紹介(派遣)	43	20

○ボランティア活動への支援

- ・河内長野市ボランティア連絡会、大阪府市町村ボランティア連絡会活動への支援
- ・登録ボランティアへの活動支援(ボランティア保険加入料の助成など)
- ・社協登録ボランティア(グループ、個人)

グループ名	人 数		活動内容
	令和5年度	令和4年度	
音訳サークル「あい」	18	19	視覚障がい者および高齢者／福祉学習に参画
手話サークル「さくらんぼ」	38	33	聴覚障がい者／福祉学習に参画
さざんかの会	10	9	女性相談
手話サークル「てのひら」	26	24	聴覚障がい者／福祉学習に参画
河内長野点訳サークル	13	14	視覚障がい者／福祉学習に参画
要約筆記サークル「葉月」	14	12	聴覚障がい者／福祉学習に参画
傾聴ラブハンド	12	14	施設内高齢者の傾聴(ハンドマッサージ)
いきいき情報誌「輝く」	11	9	情報誌作成、情報誌作成の研修など
河内長野おもちゃ病院	9	9	子どもたちのおもちゃを修理する活動
合 計	151	163	
個人登録ボランティア	82	78	福祉レクリエーション、余興など

・ボランティア活動総合補償制度の受付

	プラン等	令和5年度		令和4年度	
		加入者数 (人)	加入料 (円)	加入者数 (人)	加入料 (円)
ボランティア保険	Aプラン	184	55,200	196	58,800
	Bプラン	359	179,500	301	150,500
	Cプラン	55	33,000	38	22,800
	Cプラン 大規模 災害特例	0	0	0	0
ボランティア・市民活 動行事保険	A区分	16,068	482,040	14,798	443,940
	B区分	317	42,478	101	13,534
	C区分	0	0	0	0
	1泊2日	38	8,702	0	0
	2泊3日	0	0	0	0
	3泊4日	0	0	0	0
	4泊5日	0	0	0	0
	5泊6日	0	0	0	0
	6泊7日	0	0	0	0
	Ⅲ型	2,870	86,100	2,189	65,670
移送中事故傷害保険	I型	0	0	0	0
	Ⅱ型	0	0	0	0
非営利・有償活動団体 保険	Aプラン (3月受付)	24	117,600	4	11,400
	Aプラン (4月受付)	3	13,500	24	117,600
	Bプラン (3月受付)	9	56,700	0	0
	Bプラン (4月受付)	0	0	9	56,700
	感染症 見舞金	23	43,010	23	43,010
合 計		19,950	1,117,830	17,683	983,954

・軽トラックの貸出し

	令和5年度(件)	令和4年度(件)
福祉委員会・小学校・まちづくり協議会	25	24

②福祉委員等スキルアップ事業

講座名	講師	参加人数		開催日 場所
		令和 5年度	令和 4年度	
福祉レクリエーション 講習会（手遊び編）	個人登録ボランティア 上瀧美恵子 氏	11	22	10月27日 ゆいテラス
福祉レクリエーション 講習会（レクリエーション 用品編）	個人登録ボランティア 上瀧美恵子 氏	19	24	11月1日 ゆいテラス

○福祉レクリエーション用品の貸出し

貸出団体	貸出数	主な内容
38 グループ	82	・ 地域サロンでの使用 ・ 地域子育てサロンでの使用

(4) かわちながのボランティア・市民活動センター事業

①市民公益活動に関する情報の収集および提供

事業名称	日程	内容
ホームページの管理運営	4月	社協内のホームページにセンターのタブを設置し、情報を閲覧できるようにした。 また、公式LINEを作成し、登録者に対してボランティア情報や市民活動情報、「講習会案内」や「つながり定期便」を活用し毎月発信した。
助成金・顕彰金情報の公開	4月	ミーティングルームに、助成金・顕彰金情報を掲示し、住民が閲覧できるよう公開した。
登録団体ガイドブック	4～11月	センターの登録団体(114団体)に対して、活動内容やニーズの聞き取りを行った。11月にガイドブックを500部発行した。 令和6年4月発行に向けて簡易版を作成した。
他市町村施設の調査・研究	7、8月	一般社団法人うめらく 関係案内所なかつもり(4名)、阿倍野区まちづくりセンター(4名)の見学。市民活動センター機能の活性化について学んだ。
イベント情報の発信	7月、10月、1月	市広報・社協だよりの広報・イベントチラシにて周知した。
登録団体アンケート	2～3月	センターの登録団体(112団体)に対して、センター利用状況や事業についてアンケート調査を行った。

○センター管理運営の事業

内容	令和5年度	令和4年度
ワークスペースの利用、ミーティング ルームの利用	615(うち、土曜日利用 件数:34)	551(うち、土曜日利用 件数:59)

②市民公益活動に関する人材の育成および学習機会の提供

講 師	事業名称（内 容）	参加人数	開催日 場 所
大阪大谷大学 中道厚子 氏	くろまる塾本部講座 ーボランティア編ー 今から始めよう、地域で仲間 づくりとボランティア	18	6月10日、7 月8日、9月9 日 ゆいテラス
株式会社南気象予報士事務所 広瀬 俊 氏	次世代によるぼうさいキャン プ	47	10月21日・ 22日 ゆいテラス
NPO 組織基盤強化コンサルタン ト office musubime 代表 河合将生 氏	キホンからわかる市民公益活 動のための助成金申請・活用 のコツセミナー	17	1月27日 ゆいテラス

※要約筆記ボランティア講習会、ボランティア体験プログラムについては、地域福祉
人材育成事業にて報告

③市民公益活動に関する相談、助言およびコーディネート

事業名称	内 容	令和5 年度(件)	令和4 年度(件)
相談・コディ ネート機能	活動希望などボランティアに関する相談	40	59
	ボランティアの紹介	43	41
	登録団体に関する相談	16	3
	NPO法人の設立準備事務に関する相談	4	0
出前ボラン ティア一覧	出張系のボランティア分野を分類し紹介する 一覧表を作成し、地域へコーディネートした。	—	—

④市民公益活動に関する連携および交流促進

事業名称	内 容	参加団体 参加人数	開催日 場 所
つながりフェスタ～こころもか らだも感じてつながる市民活動 フェスティバル～	ステージ披露及び バザーの開催	18 団体 991 名	6月17日 ゆいテラス
つながりフェスタ～展示でつな がる市民活動フェスティバル～	パネル展示及びバ ザーの開催	38 団体 139 名	8月21日～8月27日 ゆいテラス
つながりフェスタ～あつまれ！ エンジョイボランティア！～	ステージ披露及び パネル展示、バザ ー・模擬店の開催	33 団体 213 名	12月2日 ゆいテラス
地域活動の第一歩 つながるま ちづくり交流会～「まち」に関 わるキッカケづくり～	講演会とグループ ワーク	31 名	3月2日 キックス
団体交流会	登録団体同士のグ ループワーク	23 団体 36 名	3月8日 ゆいテラス

⑤地域課題を解決するためのビジネス手法に関する調査・研究

講 師	事業名称（内 容）	参加人数	開催日・場所
道の駅ちはやあかさか店長 中江勇太 氏	豊かなムラ暮らしのためにできること～移住してきた新米店長のチャレンジ～	21	12月16日 ゆいテラス

(5) 地域力強化推進事業

①地域住民が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備地区(校区)福祉委員会、地域まちづくり協議会、自治会、その他地域活動団体、事業者などのあらゆる主体が地域生活課題について議論する場として、地域懇談会を開催した。

日 程	開催地域	場 所	参加者数
1月19日	天見小学校区	上岩瀬自治会館	23
1月21日	楠小学校区	楠小学校	12
2月10日	石仏小学校区	南青葉台自治会館	30
2月17日	千代田小学校区	千代田小学校	23
2月17日	加賀田小学校区	加賀田公民館	41
2月18日	長野小学校区	キックス	19
2月18日	美加の台小学校区	コミュニティルームさくら	32
2月22日	小山田小学校区	キタバあやたホール	23
2月25日	川上小学校区	くすのかホール	28
2月28日	高向小学校区	みのでホール	31
3月17日	天野小学校区	キタバあやたホール	13
3月20日	南花台小学校区	南花台東集会所	16
3月23日	三日市小学校区	ゆいテラス	23

②地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備

小学校区ごとに民生委員・児童委員と地域パートナーの協働で地域住民に対して相談会(みじかサロン)の開設を行った。

○みじかサロン開催

日程	地区	場所
4月26日	長野	にぎわいプラ座
5月24日	天見	天見公民館
6月28日	千代田東	千代田公民館
7月26日	高向	高向公民館
8月23日	天野小山田(小山田)	小山田中央集会所
9月13日	三日市【地区独自開催】	三日市公民館
9月27日	天野小山田(天野・緑ヶ丘)	天野公民館
10月25日	千代田西	千代田公民館
10月25日	加賀田(石仏)	加賀田公民館
11月22日	南花台	南花台公民館
11月30日	川上【地区独自開催】	くすのかホール

12月20日	美加の台	コミュニティルームさくら
1月24日	加賀田(加賀田)	加賀田公民館
2月28日	三日市	三日市公民館
3月27日	川上	川上公民館

○テーマ型サロン「ほっとかへん」の開催

困りごとを自覚できず、自から支援を避けているという人が、「自分が困っている」と気づき、支援に繋がるためには、地域の支援者と専門職が連携し対応することが必要となる。地域に関わる支援者間で「困っているのでは」という気づきを共有し、解決する方法を探る場を持つためにテーマを絞りサロンを開催し連携の契機とした。民生委員・児童委員、福祉委員、ボランティア、専門職（ケアマネージャーなど）などが参加した。

開催状況

日程	テーマ	内容	参加者数
12月14日	社会的孤立	・社会的孤立について学ぶ 講師：新崎国広 氏 ・グループワーク テーマ：社会的孤立について 地域で何ができるか	17

(6) 高齢者生活支援体制整備事業の推進

多様な日常生活上の支援体制の充実と高齢者の社会参加促進を一体的に図ることを目的に、市域全体をエリアとする第1層に、また日常生活圏域（概ね小学校区域等）をエリアとする第2層に、それぞれ「生活支援コーディネーター」を配置し「協議体」の開催・運営をはじめ住民主体の支えあい活動の支援を行った。第1層の協議体「かわちながの地域ささえあい推進会議」（通称：ささえあいの集い）を「生活支援の仕組みづくり」をテーマに（年4回）、「移動支援」をテーマに（年1回）、開催し、活動や組織運営に関する情報共有や意見交換を行った。また、居場所づくりをテーマに、地域支えあいフォーラムを開催し、居場所づくりの必要性や意義について再確認する機会を提供し、活動者がつながる機会とした。

また、第2層の協議体についても、高向小学校区で検討されている生活支援の仕組みづくりとして年8回、楠小学校区で検討されている移動支援の仕組みづくりとして年2回開催した。

第2層の「生活支援コーディネーター」の活動は以下の通りとなる。

①社会資源マップの構築による可視化

第2層生活支援コーディネーターが要支援者に必要な社会資源について各担当地域の情報を収集した。

②既存の社会資源の充実

第2層生活支援コーディネーターの相談支援活動では、次の活動に関わり活動に効果的な情報提供や活動の情報発信を行い支えあいの活動を支援した。

○食事を通じた居場所

- ・えん（荘園町） ・チャイルドシート（小山田町） ・Tommy's Happy（三日市）
- ・ごはんやday（市町、加賀田、南花台） ・憩いの場ホリキ（千代田南町）
- ・キッチンいろどり（千代田南町） ・喜仙（昭栄町） ・トリプル（長野町）

- 介護予防体操など健康維持増進を目的とした居場所
 - ・元気でいる会（本多町、アルカ薬局コミュニティスペースでの介護予防教室）
 - ・げんきやday（市町）、楽々やday（市町）
 - ・シルバースクール（三日市）
 - ・「ワード」クリエイション シゲサト（美加の台）

○その他の居場所

- ・1／ffのゆらぎ（日東町）
- ・えんがわ（南花台）

○生活支援の仕組み

- ・困りごとサポートこ・こ・わ美加の台（美加の台）
- ・困りごとサポートこ・こ・わ楠ヶ丘（楠ヶ丘）
- ・南花台 生活応援チーム「お互いさん」（南花台）
- ・清見台日常生活支援グループ「きよまる」（清見台）
- ・支えあい南風流南ヶ丘（南ヶ丘）

③サービスの担い手の養成と新たなサービスの開発

- ・運転ボランティア養成講座の開催

④生活支援ニーズと社会資源のマッチング

民生委員・児童委員や福祉委員、連携する専門職などから生活支援ニーズを社会資源につなげた。また、地域ケア会議に関わる自立支援会議に出席し、インフォーマルな社会資源情報をコーディネートした。

⑤支援関係者間のネットワーク

各地域包括支援センター、医師会地域連携室などと連携強化を目的に情報共有を行った。

(7) 社会福祉施設連絡会との連携

社会福祉施設の地域貢献活動がさらに展開するよう、社会福祉施設連絡会の事務局である社協が住民主体の地域福祉活動とのコーディネーター役となり、下記のとおり取り組みを行い地域福祉活動の充実を図った。

開催日	場 所	内 容
9月11日 11月8日 11月15日 11月29日 12月5日 12月7日	小山田小学校 高向小学校 楠小学校 美加の台小学校 川上小学校 加賀田小学校	福祉学習の一環として、車いす体験の講師を施設職員(みなと寮・寿里苑)が実施した。
年間	「なんすいひまわり号」 停車場所：河内長野駅、イズミヤ、楠翠台各所 市電動カートによる移動支援	楠翠台の地域において、社会福祉法人みなと寮が車輜と運転手を提供し、坂道の多い楠翠台地域の移動困難者を支援する仕組みとして、月～金曜に「なんすいひまわり号」を地域住民と連携して運行を行った。 楠台、楠翠台の移動困難者のための仕組みとして市から貸し出された電動カートを活用し、エイチ・ツー・オー商業開発と協働し社

		会福祉法人みなと寮が移動支援を行った。
--	--	---------------------

(8) 共同募金運動による財源確保および地域支援

共同募金運動は地域福祉推進のための財源として、大きな役割を担っていることから各関係機関および団体の協力を得て、役職員が一丸となって募金運動を展開した。

(単位:円)

募金種別	令和5年度	令和4年度
戸別募金	1,814,090	2,032,897
法人募金	1,066,736	976,895
バッジ募金	596,500	629,500
学校募金	261,747	369,388
街頭募金	157,505	142,288
募金箱募金	236,630	220,870
その他募金	5,203	2,218
合計	4,138,411	4,374,056

歳末たすけあい募金運動を行い、市内で活動している食の居場所を実施している団体に配分した。

(単位:円)

募金種別	令和5年度	令和4年度
歳末たすけあい募金	185,114	28,618

(9) 福祉団体支援事業

民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、保護司会（地区保護司会を含む）、更生保護女性会、身体障害者福祉会、遺族会、原爆被害者の会、母子福祉会、心身障害児・者父母の会、日赤河内長野市地区、赤十字奉仕団、献血推進協議会の支援事業を行った。特に今年度は、日赤河内長野市地区で令和6年能登半島地震災害義援金の受付を行い、令和6年3月31日現在8,253,657円を日本赤十字社を通じ被災地へ送金した。

(10) 災害ボランティアセンター運営事業

①マニュアルを使った災害ボランティアセンター（以下、「災害VC」という。）の設置・運営訓練の実施

平成27年3月26日に締結した、「災害に対する河内長野市と河内長野市社会福祉協議会の相互支援に関する協定書」に基づき、市内で災害が発生するとその被害状況や住民ニーズに応じて、早期に災害VCの設置運営が必要とされることから、昨年度に引き続きその整備を行った。

②大阪府社協と連携し、eコミ・プラットホームを活用した、大阪府災害ボランティアセンター運営シミュレーションの実行委員会に参加した。

③登録災害ボランティアの募集および育成

災害ボランティアの登録状況

(単位:人)

	令和5年度	令和4年度	活動内容など

災害ボランティア登録者数 (H24年1月より登録開始)	131	127	被災地での災害ボランティア活動 および平時のスキルアップ
--------------------------------	-----	-----	---------------------------------

- ④災害ボランティア活動用資機材の募集および整備
活動用資機材の整備、現状の個数確認を行った。
- ⑤ソーシャルネットワーキングサービスを活用し、災害V Cや災害ボランティア活動に関する情報提供を行った。
○エックス (<https://twitter.com/ksyakyouusaigai>)
○フェイスブック (<https://www.facebook.com/kawachinaganosisaigaiv>)

- ⑥災害V Cの市民への周知・啓発活動
例年、福祉委員を対象に日赤講習会を開催し災害V Cの周知・啓発活動を行っているが、令和5年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

- ⑦被災地への災害ボランティア活動および実地研修
全国各地で発生した災害に対し、災害ボランティア活動及び実地研修を行うとともに、大阪府社協および被災地社協と連携し被災地復旧復興支援活動を行った。
・令和5年台風2号による大雨災害への対応
台風2号により、本市でも裏山からの土砂の流入など家屋等への被害が発生した。それに伴い協定締結団体等に依頼し、河内長野市災害V Cを平常時から災害発生時へ移行し被災された方々への支援活動を行った。また、海南市へボランティアワゴンの運行を行った。

月 日	内 容
6月14日 6月15日	土砂の撤去等支援活動を行った。(2日間54名参加：社協登録災害ボランティア・みなと寮・ダッシュ隊大阪・BIGUP大阪・河内長野ライオンズクラブ 資機材の提供：大阪狭山市社協(軽トラ))
6月29日	海南市災害V Cへボランティアワゴン運行(7名参加：社協登録災害ボランティア・社協職員)

- ・令和6年能登半島地震への対応
令和6年能登半島地震により能登半島で甚大な被害が発生した。災害V C運営において軽トラックが必要との情報があり、本会において所有している軽トラックの貸出しを行った。
- ⑧おおさか災害支援ネットワーク(OSN)への参加
おおさか災害支援ネットワーク(以下、「OSN」という。)とは、災害時に効果的な連携を果たすために、「お互いを知ることからはじめよう」を合言葉に集まった災害時に何らかの支援活動を行う各種団体のネットワークのことをいい、情報登録団体として参画し各種団体との連携を図った。

- ⑨大阪府内社協災害担当職員会議への参加状況

開催日	開催場所	会議の内容
9月25日	大阪府社会福社会館	市町村社協災害担当職員会議
1月31日	大阪府社会福社会館	災害ボランティアコーディネーター研修会

- (11) 福祉車両および車いすの貸出し

- ①スロープ付き自動車の貸出し

	令和 5 年度	令和 4 年度
貸出件数(件)	15	9
走行距離(km)	735	636
内 容	通院 13 件・外出 2 件	通院 7 件・外出 2 件

②車いすの貸出し

機 器	令和 5 年度	令和 4 年度
車いす	134	144
介護用ベッド	10	10
合 計	144	154

※介護用ベッドについては新規貸出しを終了。

2. 相談支援活動

(1) 多機関協働による包括的相談支援体制整備事業

地域共生社会の実現を目指し、複雑化・複合化した支援ニーズを有し、様々な解きほぐしが求められる事例に対し、複数の支援関係機関が相互の有機的な連携の下、その解決に資する支援を一体的かつ計画的に行う体制を整備することを目的に相談支援包括化推進員を配置し以下の活動を行った。

① 支援関係機関等からつながれた、複雑化・複合化した事例などに対し支援した。

- ・多機関協働事業支援会議を通じて個別支援した。(5 ケース)
- ・多機関協働事業支援会議開催 5 回

② 支援関係機関等のネットワークを構築した。

重層的支援体制整備事業における、研修会の開催や庁内連携研修に参加し多職種連携の意義を伝えるとともに相談支援包括化推進員を紹介した。

日 程	場 所	参画機関・内容
6 月 21 日 9 月 6 日 2 月 22 日	市役所	ヤングケアラー支援のためのワーキング 庁内（ヤングケアラー支援に係る課）
12 月 26 日	市役所	連携研修会 庁内窓口部門、地域包括支援センター、障がい者基幹相談支援センター、CSW、民生委員など

③ 社会資源の充足状況の把握と開発に向けた検討を行った。

重層的支援体制整備事業における、レビュー会議を開催し社会資源の充足状況の把握と開発に向けた検討の場を進めた。

日 程	場 所	参画機関・内 容
6月13日 10月19日 2月13日	市役所	レビュー会議 相談支援関係機関

(2) 地域相談支援員の配置 (CSW)

要支援者などに対し、見守り、課題の発見、専門的相談の実施、必要なサービスや専門機関への紹介等の支援を行うことにより、地域福祉ネットワークの構築を図るとともに、要支援者などの自立と地域福祉の向上を図ることを目的に相談支援員(コミュニティソーシャルワーカー (CSW))は「いきいきネット相談支援センター」を拠点に以下の活動を行った。

①地域生活課題を抱える地域住民及びその家族その他の関係者からの相談に包括的に応じ利用可能な福祉サービスに関する情報の提供、社会福祉施設連絡会などの支援関係機関との連絡調整、その他必要な支援を行った。

・対象者別

相談対象者	延べ件数	件 数	相談者数
高齢者	908	165	159
（うち）一人ぐらし高齢者	386	76	72
（うち）高齢者のみ世帯	158	41	41
障がい者	622	57	43
（うち）身体障がい者	112	11	7
（うち）知的障がい者	230	9	8
（うち）精神障がい者	280	37	28
子育て中の親子	85	11	8
一人親家庭の親子	48	8	6
青少年	41	6	3
DV 被害者	22	4	1
ホームレス	0	0	0
外国人	1	1	1
その他（疾病）	370	19	5
その他（同居以外の親族）	47	5	2
その他（近隣住民）	33	8	9
その他（障がい疑い）	212	27	17
その他（その他関係者）	212	42	38
合 計	2,601	353	292

・内容別

相談内容	延べ件数	件数
福祉・サービスに関する相談	217	61
生活に関する身近な相談	719	150
健康・医療に関する相談	238	46
生活費に関する相談	148	25
就労に関すること相談	40	8
財産管理・権利擁護に関する相談	18	8
消費者被害に関する相談	0	0

多重債務に関する相談	2	1
DV・虐待に関する相談	17	7
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	76	25
住宅に関する相談	49	14
子育て・子どもの教育に関する相談	52	10
その他（社会保険）	3	2
その他（社会福祉関係税制）	51	20
その他（近隣トラブル）	85	26
その他（CSWからの働きかけ）	221	41
合 計	1,936	444

※件数はカウント方法が対象者と内容別とそれぞれ異なります。

・連携先

機関種別	件 数
民生委員・児童委員	156
地域包括支援センター	113
公的機関	134
介護保険関係施設	45
社会貢献支援事業	10
医療機関	51
医師会	0
福祉委員	1
障がい福祉サービス相談支援	37
障がい福祉サービス関係施設	11

②民生委員・児童委員と共に地域でみじかサロンを開催し、地域生活課題解決のための地域づくりに資する支援を行った。

③重層的支援体制整備事業に基づく、地域生活課題を抱える地域住民に対して活動の機会の提供、訪問による必要な情報の提供及び助言その他の社会参加のために必要な支援を行った。また、社会的孤立など生活課題を抱える地域住民の個人のニーズに合わせた社会参加の機会を提供するため、居場所「参加支援事業 楽園や day」を開催した。

開催月	内 容	参加者数
5月	・園芸作業（ラジオ体操、玉ねぎの収穫、畝の除草・耕運、さつまいもの植え付け） ・ミーティング（次回調理の分担について）	5人
7月	・園芸作業（ラジオ体操、ジャガイモ収穫） ・調理（カレーライスを作る、片づけ） ・ミーティング（カレーライスを食べながら交流）	6人
9月	・園芸作業（ラジオ体操、除草、畝づくり、大根種まき） ・ミーティング（今後やりたいことについて）	8人
11月	・園芸作業（ラジオ体操、除草、間引き、さつまいもの収穫） ・調理（やきいもを焼く、片づけ） ・ミーティング（やきいもを食べながら交流）	5人
1月	・園芸作業（ラジオ体操、大根・にんじん・ごぼう収穫） ・調理（けんちん汁を作る、片づけ）	8人

	・ミーティング（けんちん汁を食べながら交流）	
3月	・園芸作業（ラジオ体操、ジャガイモ・にんじん種まき、施肥、除草） ・ミーティング（今後の園芸計画など）	7人

④重層的支援体制整備事業に基づく、地域社会からの孤立が長期にわたる者その他の継続的な支援を必要とする地域住民及びその世帯に対し、訪問により状況を把握した上で相談に応じ、利用可能な福祉サービスに関する情報の提供および助言その他必要な支援を継続的に行った。

・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業実施件数 16件（内8件は終結）

（3）障がい者生活支援事業（ピアセンターかわちながの）

基幹相談支援センターとして、河内長野市に居住する障がい者などからの相談に応じ、必要な情報の提供、助言、障がい福祉サービスの利用支援などを行うことにより、障がい者が自立した生活を営むことができるよう支援した。

また、多職種連携の強化に注力し、基幹相談支援センター研修会のほか、重層的支援体制整備事業や後見支援センター準備会、その他様々なネットワーク会議に積極的に参加した。

①障がい者相談支援事業

ア 福祉サービスの利用援助

居住地域における施設などの利用の相談に対して、利用可能な施設の紹介および利用援助を行った。

・就労移行・就労継続支援事業所、短期入所の見学・面接の同行・支援。入所施設への入所支援。

・サービス等利用計画の作成および利用者と事業所に対するサービス調整

（サービス等利用計画 176件 延べ支援回数 1,673件）

・ガイドブックの利用、活用支援

・介護保険移行に係る地域包括支援センターとの連携、居宅介護支援事業所やケアマネジャーの紹介、引き継ぎ。

イ 社会資源を活用するための支援

障がい者福祉センター「キタバあかみね」や福祉センター「キタバ錦溪苑」、子ども・子育て総合センターあいつく、地域活動支援センター、南河内南就業・生活支援センターの紹介や面接同行などの利用援助を行った。

ウ 社会生活力を高めるための支援

福祉機器等の福祉に関する情報提供やサービス利用について相談に応じ支援を行った。

・居宅介護、生活介護などの紹介・支援

エ ピアカウンセリング

・当事者相談会を定期的開設した。

火曜日：聴覚障がい者 水曜日：肢体不自由 木曜日：視覚障がい者

・ピアカウンセラー合同の会議を定期的実施した。

・日常生活および自立生活についての助言を行った。（26件）

・民生委員・児童委員や社協職員対象の啓発、交流会、研修会を行った。

オ 権利の擁護のための必要な援助

・成年後見制度に関する相談などで専門機関の紹介や手続きに関するの助言を行った。

カ 専門機関の紹介

法テラス、障害者職業センターなど専門機関への紹介や情報提供を行った。

キ 障がい者地域自立支援協議会への参画

ク 障がい者就労相談

- ・現在就労中である方の定期面談を行った。
- ・南河内南就業・生活支援センターやハローワークの案内や同行を行った。

②障がい者地域自立支援協議会の運営

相談支援事業を効果的に実施するため、地域における障がい者などへの支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関などが相互の連絡を図ることにより連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備および相談支援体制構築を図るため事務局として運営を行った。

会議名	開催回数	内容
全体会	2回	・委託相談支援事業所の報告について ・各部会の報告について ・地域診断と評価について
運営会議	12回	・全体会について ・情報交換 ・相談支援事業所連絡会開催について
就労支援部会	6回	・就労支援事業所等の研修・交流会の実施 ・企業見学会（2回） ・各機関からの情報提供、情報交換など ・未就労者の就労継続支援利用検討会実施 ・就労支援事業所連絡会（2回）
精神障がい者地域生活定着支援部会	6回	・病院訪問、研修会など ・錦秀会看護学校研修会
子ども部会	3回	・イベント企画・調整ワーキング（4回） 子どもの権利・意思決定支援に関する講演会 民児協子育てサロンへのブース出展を実施 ・医療的ケア児の災害時支援体制検討ワーキング（3回） 災害時個別避難計画の作成、避難訓練の検討 ・情報の発信・仕組み検討ワーキング（5回） ふくしカードの作成（障がい児が利用できる社会資源情報をリスト・カード化） ・児童支援連絡会の開催（2回+各委員会） 合同説明会の開催
委託事業所会議	1回	・各事業所への通達事項の共有 ・協議事項の整理
障がい者地域自立支援協議会情報交換会	2回	・障がい者地域自立支援協議会の取り組み事例紹介 ・情報交換会、行政説明

③相談支援（基幹相談支援センター）機能強化事業

・研修会の実施

研修名	日時・場所	内容
サポートブック作成ワークショップ	1/29 2/5 2/21 ゆいテラス	ピアは一と共催。サポートブックの活用推進を目的に、サポートブックの必要性を学ぶ。
支援教育コーディネーター合同研修会	8/24 キックス	教育指導課共催。教育と福祉お互いの役割を知り、関係づくり。
障がい者虐待防止研修会	8/31 キックス	令和4年度より障がい者虐待防止の推進の為、従事者への研修実施義務化。虐待と権利擁護について、関西福祉科学大学 柿木志津江氏の講演。
多職種連携コンピテンシーを学ぶ～より良い連携のために～	7/13 7/20 キックス	障がい福祉サービス支援者を対象に連携・協働、チーム支援について学ぶ。
面談技術力アップ研修	5/29 6/12 6/26 ゆいテラス	ピアは一と共催。サポートブックの必要性、基礎的な相談援助技術やポイントを学ぶ。

・医療的ケア児等支援 医療的ケア児等コーディネーター 2名配置

・各種機関のネットワークへの参画

行事名	日程・場所
雇用フォーラム	会議（8/23、10/25、12/20）キックス フォーラム開催（2/16）さやかホール
南河内ブロック進路指導関係機関連絡会	12/22 藤井寺支援学校 3/22 西浦支援学校
地域生活支援拠点事業情報交換会	9/4 大阪府庁新別館南館
南河内障害者支援センター連絡会 連絡会企画研修会	4/17、6/19、8/21、10/24、12/12、2/14 支援センターはる 11/27 アゼリア柏原
医療的ケア児支援にかかる連携会議	8/29 TKP 大阪梅田駅前ビジネスセンター 2/1 大阪府医師会館
医療的ケア児等コーディネーター3市 合同会議	7/5 富田林苑 11/22 ペガサス保育園
南河内南就業・生活支援ネットワーク	6/28、8/23、10/25、12/20、3/13
精神保健医療ネットワーク協議会	6/19 研修会参加、7/26 在宅療養部会、8/24 富田林保健所
自殺対策連絡会議	11/8 保健センター
支援学校進路懇談会	5/16 藤井寺支援学校 10/23 富田林支援学校

・大阪府相談支援従事者初任者研修 10人、大阪府相談支援従事者現任研修 26人、サービス管理責任者1人のインターバル期間の研修生の受け入れを行い、障がい者地域自立支援協議会の活動や市の現状の説明、スーパービジョンを行った。

④住宅入居等支援事業

地域での1人暮らしを希望する障がい者に対して、不動産会社の紹介や同行を行った。

⑤成年後見制度利用支援事業

令和6年度に向けて進められている中核機関設置（後見支援センター）に向けて委員として参画し、成年後見制度利用支援について連携した体制作りを進めた。

⑥サービス等利用計画の作成

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第19条及び児童福祉法第21条の5の2に基づく支給決定を受けた障がい者（児）に対して障がい者ケアマネジメントの手法を用いて相談支援を行った。特に特定事業所で担当することが難しい案件（契約者が遠方のケースやサービス調整の複雑かつ多職種の連携が必要な）を担当した。契約者数85人（3月末現在）

（4）心配ごと相談所の開設

民生委員児童委員協議会地区委員長を相談員として委嘱し、市民が気軽に来所し、あらゆる悩みごとや心配ごと相談ができる相談所として社協にて月1回、各小学校区にて1回実施した。また、河内長野市主催の「くらしの総合相談（年2回）」に相談員を派遣し、市民からの相談に応じた。小学校区での開催については、各地区の民生委員・児童委員とCSWや地域パートナーが地域課題について情報共有する機会となった。

	令和5年度
相談件数	7
開設日数	28

主な相談内容として、障がい者福祉や家族関係、住まいに関する相談があった。

（5）日常生活自立支援事業（あんしんサポートサービス）

市内在住の認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用援助サービス、日常的金銭管理サービス、通帳や証書類・印鑑などの預かりサービスなどを行い、地域での安心した自立生活をサポートした。また、中核機関（後見支援センター）設置に向けて行政、司法関係機関との検討を行い、中核機関としての実施事業・役割・機能について協議した。

	令和5年度	令和4年度
契約件数	37	40
新規契約者数	6	2
契約者への訪問延べ回数	836	840
相談件数	1,635	1,461
事業問い合わせ件数	32	9
(内訳) 認知症高齢者	14	4
(内訳) 知的障がい者	5	2
(内訳) 精神障がい者	13	3
(内訳) その他	0	0

（6）生活困窮者家計改善支援事業

生活に困窮している人を対象に、課題がより複雑化・困難化する前に相談に応じ、自

立した生活が送れるように支援した。

① 支援者数 ※年度末=前年度末+当年度新規-(当年度終結+当年度取止め)

令和5年度				令和4年度			
新規	終結	取止め	年度末	新規	終結	取止め	年度末
7	4	0	11	5	3	1	8

②相談延べ件数

分類		令和5年度	令和5年度	令和4年度	令和4年度
		延べ回数	合計	延べ回数	合計
支援者	面談対応	95	131	115	166
	電話対応	36		51	
自立支援機関	面談対応	28	37	25	32
	電話対応	9		7	
関係機関	面談対応	2	11	6	12
	電話対応	9		6	
合計	面談対応	125	179	146	210
	電話対応	54		64	

(7) 生活福祉資金貸付事業

自立支援策として低所得者、障がい者、高齢者、失業者世帯などの日常生活の維持が困難となっている世帯を対象に、以下の資金の貸付と必要に応じて民生委員・児童委員と連携し支援した。

資金種別	令和5年度			令和4年度		
	相談延べ件数	貸付申込件数	貸付決定金額(円)	相談延べ件数	貸付申込件数	貸付決定金額(円)
福祉資金	74	2	994,000	37	1	87,000
教育支援資金	75	10	5,447,000	150	11	6,593,000
総合支援資金	31	1	450,000	17	1	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0
緊急小口資金 (小口生活資金含み)	156	20	1,748,000	60	8	485,000
不動産担保型生活資金	2	0	0	1	0	0
離職者支援資金	0	0	0	0	0	0
新型コロナウイルス 特例(小口)	-	-	-	268	71	14,500,000
新型コロナウイルス 特例(総合)		-	-		73	47,700,000
資金不明	-	-	-	0	0	0
合計	338	33	8,639,000	533	165	69,365,000

(8) 緊急小口資金等特例貸付の借受人へのフォローアップ支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付を借り受けた世帯で、生活に困窮し支援が必要と考えられる世帯に対しフォローアップ支援を行った。

- ① 個々の状況に配慮した償還猶予等の案内をした。
- ② 訪問等のアウトリーチによる生活再建に向けた支援をした。
- ③ 借受人へのフォローアップ支援をした。
- ④ 償還免除申請に未応答の借受人へのフォローアップ支援として、全借受人を対象に「生活相談のごあんない」チラシを送付し、その後の問い合わせや相談に対応した。

		令和5年度 (単位：件)			
緊急小口資金等借受人へのフォローアップ支援	支援方法	①個々の状況に配慮した償還猶予等の案内	②訪問等のアウトリーチによる生活再建に向けた支援	③借受人へのフォローアップ支援	④償還免除申請に未応答の借受人へのフォローアップ支援
	電話	168	17	80	54
	窓口	64	9	25	26
	郵送	3	0	9	1,035
	訪問	1	10	2	2
	その他	12	1	5	0
	合計	248	37	121	1,117

3. 福祉サービス

(1) 障がい者就労支援事業

障がい者就労継続支援B型事業所『オリーブ』では、地域との関わり合いを大切に、イベントや創作活動を通じて社会性を身につけ、生きがいや楽しみを持って充実した生活ができるよう支援した。

- ① 施設外就労など、様々な作業内容の機会を提供した。

年度	令和5年度	令和4年度	前年度対比
利用者延べ数	4,854人	4,375人	479人
請求対象者	315人	298人	17人

- ② 創作活動やイベントなどの社会体験の機会を提供した。

日程	場所	内容
4月2日	ゆいテラス	ゆいテラス・バースデーフェスティバル
5月19日	滋賀県近江八幡方面	日帰り研修
6月22日	ゆいテラス	オリーブ交流会（活動報告）
7月29日	キタバ錦溪苑	エンジョイクラブ（カラオケ・ビーズ教室）

8月26日	ゆいテラス	つながりフェスタ（カフェ営業）
9月2日	ゆいテラス	大阪 880 万人訓練
9月5日	泉南市なんなん作業所	聴覚障がい者作業所 見学ツアー参加
9月26日	市町 diary	オリーブのえんにち（カレー作り）
10月2日	イズミヤ SC 河内長野	赤い羽根の共同募金（街頭募金）
10月23日	市町 diary	調理実習（ヘルパー勉強会）
11月11日	くろまろの郷	くろまろ福の市
12月2日	キタバ錦溪苑	福祉センターまつり
12月22日	オリーブ	クリスマス会
1月4日	オリーブ	初詣・新年会
2月20日	キタバ錦溪苑	エンジョイクラブ（カラオケ・工作）
3月28日	すばるホール	エンジョイクラブ（プラネタリウム鑑賞）

（2）居宅介護支援事業

利用者ニーズの把握に努め、住み慣れた居宅で自立した日常生活を送れるよう支援した。また、多職種連携を強化し切れ目のないサービス提供ができるよう、プラン作成に努めた。

① 居宅介護支援事業 （単位：件）

認定区分	令和5年度	令和4年度	前年度対比
要介護者	985	991	-6

② 介護予防支援事業 （単位：件）

認定区分	令和5年度	令和4年度	前年度対比
要支援者	375	426	-51

③ 要介護等認定調査 （単位：件）

市町村名	令和5年度	令和4年度	前年度対比
河内長野市	340	100	240
他市町村	0	5	-5
合計	340	105	235

（3）訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業

利用者一人ひとりが住み慣れた地域での生活が続けられるよう自己決定を尊重したサービスを提供した。また、研修会や勉強会などを通じてヘルパーの資質向上にも注力した。

① 訪問介護事業

令和5年度		令和4年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
8,003	8,610 : 05	8,483	9,067 : 10	-480	-457 : 05

② 介護予防・日常生活支援総合事業

令和5年度		令和4年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数

2,415	1,823 : 05	2,857	2,171 : 45	-442	-348 : 40
-------	------------	-------	------------	------	-----------

(4) 障がい者総合支援事業

障がい者が安心して地域で生活が送れるように、精神面も含めたサポートを行った。また、重度化・高齢化を踏まえ、他事業所や医療機関との連携を強化し、利用者の意思および人格を尊重して個々の実情に応じたサービス提供を行った。

① 居宅介護事業

令和5年度		令和4年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
6,546	9,614 : 15	7,970	11,226 : 15	-1,424	-1,612 : 00

② 同行援護事業

令和5年度		令和4年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
1,962	8,669 : 00	1,992	9,088 : 00	-30	-419 : 00

③ 重度訪問介護事業

令和5年度		令和4年度		前年度対比	
時間数		時間数		時間数	
3,335 : 00		3,931 : 00		-596 : 00	

④ 地域生活支援事業（移動支援）

令和5年度		令和4年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
2,089	9,910 : 00	2,147	9,220 : 30	-58	689 : 30

⑤ 行動援護事業

令和5年度		令和4年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
30	111 : 30	30	128 : 00	0	-16 : 30

⑥ サービス等利用計画

(単位：件)

種別	令和5年度	令和4年度	前年度対比
新規支援計画（更新）	100	119	-19
継続支援計画（モニタリング）	104	114	-10
新規支援計画（初回）	0	1	-1

⑦ 障がい支援区分認定調査

(単位：件)

	令和5年度	令和4年度	前年度対比
河内長野市	24	20	4

(5) 生活応援サービス（制度外サービス）

令和5年度		令和4年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
187	224 : 50	193	221 : 15	-6	3 : 35

(6) 受託事業

① 河内長野市訪問介護型A事業従事者研修事業

	令和5年度	令和4年度	前年度対比

開催月	11月	10月	
参加人数	5	7	-2

②河内長野市家庭訪問支援事業

令和5年度		令和4年		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
18	35:00	21	22:30	-3	12:30

(7) 総合的事業

① 地域の福祉活動や介護技術講習などに職員を派遣した。

開催日	テーマ	派遣人数
10月17日	産前産後ヘルパー養成講座 ～子育て家庭への家事援助を学ぶ～	1
3月10日	千代田地区いきいき介護フェア：介護講座	3

②大学などが開校する同行援護従事者養成研修などへの講師派遣(今年度開催なし)

③登録ヘルパーのスキルアップのため、全体研修会を以下のとおり実施した。

開催日	場 所	内 容
5月26日	ノバティホール	・倫理及び法令遵守について ・利用者のプライバシー保護の取り組みについて ・接遇 ・感染症・食中毒予防対策及びまん延防止
9月22日	ゆいテラス	・ストレスチェック ・記録の書き方について ・事故発生等緊急時の対応 ・事故再発防止(リスクマネジメント)
3月15日	ゆいテラス	・認知症及び認知症ケアについて ・虐待防止・身体拘束の適正化について ・雇用契約更新など事務連絡

④介護・コミュニケーション技術や調理実習などの勉強会を以下のとおり実施した。

開催日	場 所	テ ー マ
10月23日	市町 diary	調理実習(利用者と共に)

⑤情報紙「華」を発刊した。(1月)

⑥利用者アンケート調査を実施した。(6月・8月・9月)

⑦介護サービス情報公表及び障がいサービス情報公表を実施した。(10月・12月)

⑧法令遵守のため、定期的な自主点検・自己評価を実施した。(6月・12月)

⑨職員のスキルアップのため、各種研修会を以下のとおり受講した。

月 日	開催場所	研修内容	参加人数
5月29日	ふれあいの丘	こもれび塾(ケアマネ勉強会) 「支援力を高めよう」	1
6月15日	市役所	ケアプラン勉強会 「介護予防プランの作成・考え方について」 「次期介護保険制度改正から介護予防支援の 地域包括支援センター以外での指定について」	5

6月28日	キックス	河内長野市 BCP 策定セミナー&ワークショップ	1
7月13日 7月20日	キックス	令和5年度河内長野市基幹相談支援センター 研修会 「多職種連携コンピテンシーを学ぶ～より 良い連携のために」	2
7月14日	オンライン研修	介護支援専門員資質向上研修 「スーパビジョンの展開と進め方」	1
7月15日	大阪介護支援専門員 協会研修センター	介護支援専門員資質向上研修 「知って役立つ財産管理を学ぼう」	1
7月25日	キックス	介護支援専門員資質向上研修 「意思決定支援の基礎」	1
8月31日	キックス	基幹相談支援センター主催研修会 「障がい者虐待防止研修会」	3
9月28日	キタバあかみね	令和5年度 就労支援部会研修会 「事業所連携強化」	1
9月15日	大阪府社会福祉会館	事務所における個人情報の適切な取り扱い 研修	2
10月20日	キックス	高齢者の消費者被害	1
10月31日	オンライン研修	社会福祉協議会における介護の魅力発信 オンラインサロン	1
11月10日	オンライン研修	福祉と人権の研修ネットワークおおさか「感染症 予防対策」	1
11月28日	キックス	令和5年大阪府介護支援専門員資質向上研修 「障がい福祉と介護保険の連携に関する勉強会」	2
11月8日	河内長野市医師会	令和5年医療・介護連携のための多職種連携 研修会 「介護施設における ACP の取り組みについて」	2
12月14日	大阪府社会福祉会館	大阪府民間社会福祉事業従事者等資質向上研修 「福祉・介護サービス従事者に求められる職業 倫理～利用者本位の福祉と介護サービス」	1
12月1日	キックス	河内長野市スキル向上学びの集い 事例検討勉強会	1
1月31日	オンライン研修	市町村社協介護サービス経営検討委員会 オンラインサロン	2
2月7日	キックス	カスタマーハラスメント対応研修	2

⑩居宅介護支援計画など各種支援計画事例検討会議を毎月第3木曜日に実施した。

⑪令和5年度市町 diary 利用状況

月	令和5年度		令和4年度	
	団体数	利用回数	団体数	利用回数
4月	4	13	4	13
5月	4	11	4	11
6月	5	15	4	14
7月	4	14	5	14
8月	5	13	5	11
9月	5	16	4	12
10月	5	14	4	13
11月	4	15	4	11

12月	4	13	5	13
1月	4	12	5	12
2月	5	15	5	13
3月	4	14	4	15
合計	53	165	53	152

利用団体：ごはんやday、げんきやday、楽々やday、ソーイングなど
 ⑫毎月1回、福祉センターにおいて「福祉なんでも相談」を実施した。

4. 施設管理運営

(1) 市立福祉センター「キタバ錦溪苑」管理運営事業

福祉センターでは、引き続き利用者の健康維持や衛生面、感染防止に配慮した管理運営を行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止していた福祉センターまつりやロビーコンサート、カラオケ発表会などの開催を再開し、利用者などの集いの場を提供した。イベントや講座の開催に際しては、利用者アンケートや運営委員会などからの意見を反映し、利用者の満足度が増すよう内容の充実を図った。

さらに、福祉避難所運営マニュアルを策定し、より円滑な避難所運営に備えるとともに、日頃の防災・減災意識を高める目的で、防災・避難訓練を開催した。

《施設利用状況》

月	開館日	利用者数			
		男	女	計	1日平均
4月	25	1,915	1,761	3,676	147
5月	23	1,659	1,413	3,072	134
6月	26	1,899	1,522	3,421	132
7月	25	1,782	1,415	3,197	128
8月	26	1,758	1,321	3,079	118
9月	24	1,762	1,439	3,201	133
10月	25	1,837	1,578	3,415	137
11月	24	1,704	1,656	3,360	140
12月	23	1,703	1,688	3,391	147
1月	22	1,643	1,533	3,176	144
2月	23	1,785	1,610	3,395	148
3月	26	1,911	1,761	3,672	141
令和5年度合計	292	21,358	18,697	40,055	137
令和4年度合計	211	14,838	12,212	27,050	128

《浴場利用状況》

月	開館日	利用者数			
		男	女	計	1日平均
4月	25	1,295	967	2,262	90
5月	23	1,087	743	1,830	80
6月	26	1,214	783	1,997	77
7月	25	1,157	656	1,813	73
8月	26	1,161	642	1,803	69

9月	24	1,126	626	1,752	73
10月	25	1,205	710	1,915	77
11月	24	1,174	743	1,917	80
12月	23	1,118	735	1,853	81
1月	22	1,093	719	1,812	82
2月	23	1,150	777	1,927	84
3月	26	1,252	827	2,079	80
令和5年度合計	292	14,032	8,928	22,960	79
令和4年度合計	211	9,861	6,404	16,265	74

①生きがいづくり

生涯学習および教養の向上を図るため、利用者のニーズに添った講座を開催するとともに、センターで過ごす時間が利用者の生きがいとなるよう下記の事業を実施した。

《講座開催状況》

令和5年度			令和4年度		
講座名	参加人数	実施期間	講座名	参加人数	実施期間
健康運動教室	10	4/13～9/28	健康運動教室	8	4/14～9/29
	10	10/3～3/26		0	中止
ロビーコンサート	41	2/27	ロビーコンサート	0	中止
フラダンス教室	11	10/11～11/29	フラダンス教室	0	中止
囲碁将棋大会	0	中止	囲碁将棋大会	17	2/21
カラオケ発表会	58	3/10	カラオケ発表会	0	中止
教養講座（①おりがみ）	10	7/26	教養講座（スマホ）	12	1/31
教養講座（②ビーズ）	11	10/25	合計	37	
手描き友禅クラブ体験教室	10	3/8、3/22			
合計	161				

②健康増進および相談事業の拡充

理学療法士・看護師による健康運動教室、血圧測定、機能回復維持訓練を行うとともに医師やケアマネジャー、CSWによる福祉なんでも相談を実施した。

また、キタバ薬局が行うロコモ体操教室と連携し、高齢者の健康維持・増進に努めた。

○健康運動教室（機能回復維持訓練）の実施

疾病・負傷により心身の機能低下を招いている利用者の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために、理学療法士および看護師による訓練指導を実施した。

《健康運動教室実施状況》

（単位：人）

月	令和5年度			令和4年度		
	男	女	計	男	女	計
4月	4	14	18	2	9	11
5月	4	13	17	2	10	12
6月	4	14	18	1	10	11

7月	4	14	18	0	5	5
8月	3	13	16	0	0	0
9月	2	11	13	0	0	0
10月	4	15	19	0	4	4
11月	4	9	13	0	0	0
12月	3	11	14	0	0	0
1月	3	9	12	0	0	0
2月	4	11	15	0	0	0
3月	3	9	12	0	0	0
合計	42	143	185	5	38	43

○血圧測定の実施

利用者の健康に対する不安を解消するため、看護師による血圧測定を月2回（第2・4金曜日）実施した。

《血圧測定実施状況》

（単位：人）

月	令和5年度				令和4年度			
	回数	男	女	計	回数	男	女	計
4月	2	3	2	5	2	3	4	7
5月	2	5	1	6	2	2	4	6
6月	2	5	1	6	2	2	2	4
7月	2	6	0	6	2	1	3	4
8月	1	2	0	2	0	0	0	0
9月	2	2	3	5	0	0	0	0
10月	2	4	2	6	2	3	4	7
11月	2	5	1	6	0	0	0	0
12月	2	3	1	4	0	0	0	0
1月	2	2	2	4	2	3	1	4
2月	1	1	1	2	2	3	3	6
3月	2	2	3	5	2	4	1	5
合計	22	40	17	57	16	21	22	43

○福祉なんでも相談の実施

利用者の健康や困りごとなど生活全般に対する不安を解消するため、ケアマネジャー、CSW、医師による福祉なんでも相談を実施した。（毎月第2水曜日、医師による医療健康相談のみ毎月第3金曜日に変更）

《福祉なんでも相談実施状況》

（単位：人）

月	令和5年度			令和4年度		
	男	女	計	男	女	計
4月	1	0	1	0	0	0
5月	0	0	0	1	1	2
6月	0	2	2	0	1	1
7月	1	0	1	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	1	0	1	0	0	0
11月	1	0	1	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	1	1	0	0	0
2月	0	0	0	1	0	1

3月	0	0	0	0	0	0
合計	4	3	7	2	2	4

③自主活動の拠点づくり

センタークラブが自主活動として、活発に活動できるよう支援した。また、新規利用者や加入希望者への紹介を行うとともに、各センタークラブの紹介ポスターを館内に掲示、体験会の開催などで活動をPRした。

さらに、年々増加傾向にあるセンタークラブ以外の10人以上で構成する各種団体グループ・サークル・同好会に対し活動の場を提供した。

《センタークラブ活動状況》

クラブ名	活動日	活動場所	会員数
あみもの	第1・3(金)	サークル2	14
カラオケ歌謡会	第3(水)	大広間	15
カラオケ平成会	第2(土)	大広間	15
カラオケみちづれ会	第3(金)	大広間	14
茶道(裏千家)	第1・3(木)	洗心亭	6
詩吟クラブ	第1・3(水)	サークル1	11
書道	第2・4(土)	サークル2	8
水彩画クラブ	第2・4(水)	サークル2	10
水墨画	第1・3(木)	サークル2	7
スワングダンスクラブ(社交)	第1・3(土)	サークル2	7
太極拳	第2・4(木)	サークル2	18
大正琴	第2・4(火)	大広間	11
手描き友禅	第2・4(金)	サークル1	7
ヨガクラブ	第2・4(火)	訓練室	8
レザークラフト	第1・3(金)	サークル2	4
生け花(すずらん会)	第2・4(火)	サークル2	7
レッツダンス	第1・3(水)	サークル2	11
陶芸クラブ	第1・3(金)	サークル3	7

④新規事業および自主事業の企画と実施

新型コロナウイルス感染症予防対策の緩和に伴い、福祉センターまつりやロビーコンサート、カラオケ発表会などの開催を再開した。利用者アンケートにて希望のあったおりがみ教室やビーズ教室を開催した。

⑤情報の提供

○ホームページの更新 (<http://business4.plala.or.jp/kinkeien/>)

毎月ホームページを更新し、広報啓発を行った。

○広報紙「キタバ錦溪苑だより」の発行

2ヶ月に一度、福祉センターの事業内容や予定を掲載した広報紙「キタバ錦溪苑だより」を発行し情報提供を行うとともに、利用者の拡大をめざし市役所および各公民館、民間福祉施設など市内各所に配布、設置した。

(発行部数1回:1,700部)

○日常生活における情報提供

河内長野市で高齢者などに対する詐欺が増加していることから、河内長野警察の協力により、啓発ポスターの掲示およびチラシの配布を行い、詐欺被害を未然に防止するための啓発活動を行った。

⑥浴場設備の安全衛生管理

社会福祉施設におけるレジオネラ菌防止対策（厚生労働省通知）を遵守するとともに保健衛生管理・安全対策として水質維持・管理を図るため、浴場関連設備および貯湯槽の清掃・洗浄、1日4回の塩素濃度検査による塩素消毒の徹底を行い、利用者への衛生面に配慮した施設管理運営を行った。

⑦送迎バスの運行

利用者の利便性を確保するため、市内巡回・単位老人クラブ・市内主要駅（河内長野・千代田・三日市町・美加の台の4駅）への送迎バスを運行した。

《市内巡回送迎バス利用状況》

（単位：人）

曜日	地区名/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	令和5年度合計	令和4年度合計
第1・3火	千代田東	5	3	3	1	1	5	3	3	3	2	4	8	41	39
	千代田西	17	19	18	9	13	2	15	11	17	10	10	14	155	101
第1・3木	天野・旭ヶ丘	1	0	0	1	3	2	3	4	7	2	4	2	29	0
	青葉台・加賀田	14	3	12	14	8	13	12	10	16	4	10	17	133	98
第1・3土	川上・楠台	2	2	1	0	0	1	4	4	4	4	4	4	30	21
	南ヶ丘・南花台	20	27	19	21	20	18	14	18	9	16	23	27	232	239
第2・4火	小山田・緑ヶ丘	10	2	3	5	12	10	0	4	4	0	0	3	53	43
	荘園・寺ヶ池	8	9	7	4	7	3	3	10	13	6	10	7	87	44
	楠翠台・向野町	6	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	3	28	13
第2・4木	高向・滝畑	7	7	6	7	7	14	10	6	4	8	5	11	92	57
	長野・楠ヶ丘	6	6	5	5	2	6	3	2	3	8	5	7	58	47
第2・4土	天見・楠台	1	2	2	2	5	3	5	4	4	4	3	1	36	22
	美加の台・清見台	5	4	5	5	2	4	7	6	3	3	15	2	51	17
合計		102	86	83	76	82	83	81	84	89	68	85	106	1,025	741

《第5週バス運行実績》

第1便：千代田駅～河内長野駅

第2便：美加の台駅～三日市町駅

	運行回数	乗車人数
令和5年度	9	156
令和4年度	7	124

《地域貢献活動》

令和4年度より他福祉センターと結ぶ移動手段として開始

毎週木曜日：キタバあやたホール、障がい者福祉センター「キタバあかみね」、市役所

毎週土曜日：くすのかホール（単位：人）

月	あやたコース (毎週木曜日)	くすのかコース (毎週土曜日)	合計
4月	1	2	3
5月	0	4	4
6月	0	4	4
7月	2	3	5
8月	0	3	3

9月	1	2	3
10月	0	1	1
11月	0	6	6
12月	1	4	5
1月	0	3	3
2月	0	4	4
3月	0	5	5
合計	5	41	46

《単位老人クラブ送迎利用状況》

月	令和5年度		令和4年度	
	回数	乗車人数	回数	乗車人数
4月	2	75	0	0
5月	1	25	1	42
6月	4	105	2	128
7月	1	25	1	34
8月	2	45	0	0
9月	2	40	0	0
10月	2	35	1	44
11月	4	75	0	0
12月	2	70	0	0
1月	3	80	2	132
2月	4	95	1	46
3月	4	85	1	44
合計	31	755	9	470

《市内主要駅送迎利用状況》

(単位：人)

月	河内長野	千代田	三日市	美加の台	令和5年度 合計	令和4年度 合計
4月	27	79	4	29	139	146
5月	24	61	6	22	113	136
6月	28	80	8	27	143	116
7月	29	60	0	29	118	109
8月	28	78	7	22	135	0
9月	25	64	11	20	120	28
10月	28	60	16	22	126	121
11月	30	45	15	16	106	29
12月	31	44	13	11	99	0
1月	27	34	12	16	89	122
2月	31	53	16	12	112	126
3月	31	53	12	12	108	148
合計	339	711	120	238	1,408	1,081

⑧福祉センターまつりの開催（令和5年12月2日）

センタークラブの日頃の活動の成果を発表する場として、センターまつりを実施した。当日はセンタークラブや市内で活動する団体の舞台発表、展覧会の開催、センタークラブの紹介パネルの設置、てづくりショップ「しるばー」や母子福祉会のバザーの出店、キタバ薬局より骨密度測定ブースの設置、模擬店の出店など交流を深めるイベントとなった。

⑨周知・啓発事業の開催

センターを次世代の利用者をはじめ広く市民に知っていただくことを目的に福祉センターまつりやロビーコンサートの開催など利用制限を解除して実施した。

⑩福祉センター運営委員会の開催

運営の適正化を図るため、有識者や当事者団体の代表、市民の代表の他、センター利用者からも委員を選出し、これまで以上に幅広く意見を随時取り入れた。

⑪福祉団体の支援

市老人クラブ連合会、市母子福祉会の事務局として活動を支援するとともに、センター事業に積極的に協力をいただいた。

⑫消防避難訓練の実施（自衛消防訓練）

実施日	参加者数	対 象
7月19日	12	センター職員および社協職員（応援班）
2月21日	14	センター職員および社協職員（応援班）

⑬防災・避難訓練の実施

実施日	参加人数	内 容
3月5日	22	市危機管理課職員による講話、アルファ米試食会など

⑭避難所の開設

防災・減災には事前の避難が有効であることから、行政と連携を図り避難所を開設した。

《開設の原因および開設日と人数》

開 設 状 況	開 設 期 間	避難者数
台風2号 (大雨・土砂災害)	6月12日 午前10時00分から 6月13日 午前03時00分まで	0
台風7号 (大雨・土砂災害)	8月14日 午後05時00分から 8月15日 午後05時00分まで	2

⑮福祉避難所運営マニュアルの策定

避難所運営を円滑に行うため、感染症などの対策にも対応可能な福祉避難所運営マニュアルを策定し、行政と協議を行った。

⑯各種研修会や講習会の受講

月 日	開催場所	研修内容	参加人数
4月20日	大阪府社会福祉会館	サービスマナーセミナー	1
6月20日	市役所	市人権研修「性的マイノリティに配慮した窓口対応等」	1
8月31日	キックス	機関相談支援センター研修会 「障がい者虐待防止研修会」	1
12月9日	キックス	人権を考える市民の集い	1

1月22日	阿倍野区民センター	安全運転者講習会	1
1月31日	市役所	指定管理者制度研修会	2

(2) 市立障がい者福祉センター「キタバあかみね」デイサービス事業

障がい者福祉センターは、河内長野市内在住の障がい者と地域との自由な交流を通じて障がいを正しく理解していただくとともに、障がい者福祉の拠点としての役割を果たすべくセンター機能の充実を図った。

教室・クラブを実施することで、障がい者の余暇活動や居場所としての機能を維持させた。運営委員会やアンケート調査の実施により、利用者やボランティアなどからの意見を集約し、事業の見直しや今後の展開について調整を行った。

施設管理については、芝生の管理（ふれあい広場 あかみね）や必要な修繕については早期に対応するなど、施設管理の徹底と過ごしやすい環境づくりを行った。

また、ネーミングライツ事業の契約により、「キタバあかみね」の愛称となった。市危機管理課や大阪府警察本部生活安全指導班との連携により、防災や防犯について、日頃の備えや知識を得る機会を設けた。

障がい者福祉センター利用者数

(単位：人)

	重度	中度	軽度	小計	その他	令和5年度	令和4年度	前年度対比
クラブ・教室	1,489	1,411	316	3,216	2,684	5,900	4,985	915
貸室	477	553	13	1,043	2,399	3,442	2,978	464
生活介護	1,952	905		2,857	81	2,938	2,913	25
その他				0	79	79	112	-33
合計				7,116	5,243	12,359	10,988	1,371

①機能訓練および社会適応訓練

社会活動への参加と自立を促進するために、機能訓練および社会適応訓練として各種教室・クラブを開催した。また、障がいのある方と地域の方々が交流できる場を提供した。

ア 機能訓練として、カラオケクラブ、ミニSLを実施した。

飲食を伴う料理教室・手作りパン教室は感染拡大防止のため中止とした。

イ 社会適応訓練として、パソコンクラブ、ソフトバレーボールを実施した。

②創作活動および更生訓練

充実した日常生活を過ごせる場を提供するとともに、喜びを実感できる創作活動および更生訓練などを通じ社会参加の促進を図り、各活動を行った。

ア 創作活動として、ペイント&クラフト、フラワーアレンジメント、書道、創作、絵画、手織り、陶芸、エンジョイなどのクラブ・教室を開催した。

イ 更生訓練として、障がい者の健康増進と社会参加の促進を図るため、グラウンドゴルフなどのクラブ、教室を開催した。

飲食を伴う茶道教室は感染拡大防止のため中止とした。

③講座・講習会について

心豊かに楽しくいきいきとした日常生活が送れるよう、オンラインの活用をしながら講座・講習会を開催した。

ア ボッチャ、大正琴、卓球、あかみねエクササイズ、フライングディスクなどの教室を開催した。

イ 点字講習会を開催した。(7月19日、26日)

ウ 手話講習会を開催した。(7月27日)

エ ボランティア講習会を開催した。(2月16日)

④医療、福祉、生活相談

専門医（整形外科医・精神科医）による医療相談を実施した。

・医療相談 毎月1回、専門医師の相談を実施した。

整形外科医相談（偶数月）みやざき整形外科 宮崎医師

精神科医相談（奇数月）老寿やすらぎ病院 北畑医師

・健康・生活相談

看護師が健康・生活相談を必要に応じて実施した。

・看護処置・看護相談

看護職員によるケガなどの応急処置や看護に関する相談を実施した。

⑤市民啓発事業

市広報、社協だより、ホームページにて、事業の啓発や募集を行った。必要な市民に情報が届くよう、関係機関への情報提供を行い周知に協力依頼をした。

・キタバあかみねフェスティバルを開催した。

・キタバあかみね作品展・発表会を開催した。

⑥ボランティア養成およびグループ活動支援

誰もが平等に参加できるように、それぞれの障害特性や困りごとに合わせた配慮を常に意識してもらえるように支援をした。

⑦障がい者福祉センター運営委員会の開催

運営委員会を開催し、各委員からの意見を反映し、サービスの向上を図るとともに運営の適正化を行った。

⑧福祉団体の支援

市身体障害者福祉会、市心身障害児・者父母の会の事務局として活動を支援した。

⑨その他必要な事業

ア 障がい児支援

・ペアレント・トレーニング（10回）を実施した。

・伊丹昌一氏による講演会「すべての子どもを幸せにするペアレント・トレーニング」を実施した。

・作業療法士による個別相談会を実施した。

・保護者会（おやとも保護者会）をテーマにそって定期的に開催し、保護者同士の支えあいや専門家による助言を実施した。

・アンガーマネジメント講習会を実施した。

イ 外出事業

川村義肢株式会社にて、川村義肢で製作している義肢や装具、車イスなどの福祉用具の見学と体験を実施した。(3月29日)

ウ 福祉教育の支援強化

各種学校などと連携し福祉教育・交流の場を提供した。また、社会福祉士実習の受け入れを実施した。

職場体験：南花台中学校(6月13、14日)、千代田中学校(7月6、7日)、
加賀田中学校(11月9、10日)、長野中学校(11月16、17日)

福祉学習：小山田小学校5年生(11月7日)

エ 送迎バスの運行およびタクシー補助事業

センター利用者の利便性の向上を図るため、送迎バスの効率的な運行やタクシー補助事業の実施および貸室の利用者への対応を行った。

送迎バス利用者数合計

(単位：人)

	朝迎え	昼迎え	15時送り	16時送り	令和5年度	令和4年度	前年度 対比
ルート送迎	679	1,626	1,067	0	3,314	2,517	797

タクシー補助事業

利用件数は、55件あった。(登録者数25人：前年度54件)

オ 虐待防止や権利擁護などについての研修に参加するとともに内部研修を実施した。

令和5年度 職員のスキルアップ研修会などへの参加状況

月 日	開催場所	研修内容	参加 人数
5月19日～6月7日	オンライン研修	第1回障がい支援区分認定調査員研修	4
6月2日、7日	動画視聴 研修	感染症・食中毒予防対策講習会	13
6月20日	市役所	河内長野市職員人権研修	1
7月1日	キックス	アンガーマネジメント講習会	3
7月13日、20日	キックス	河内長野市基幹相談支援センター研修会	1
7月25日、8月24日、9月20日	エルおおさか	人権リーダー養成講座	1
8月29日	オンライン研修	障がい児者・救護施設過程(応用コース)	1
8月31日	キックス	障がい者虐待防止研修会	2
10月4日	SAYAKA ホール	安全運転管理者講習会	1
12月9日	キックス	人権研修	2

12月23日	キックス	河内長野市精神障がい者理解促進事業 精神科医による講演会	1
1月11日～2月29日	動画視聴 研修	障がい児者施設の虐待防止研修	13
1月16日、2月15日、3月8日	大阪私学館	相談支援従事者現任研修	1
1月31日	市役所	河内長野市指定管理者制度研修会	2
2月3日、4日	大阪府社会福祉会館	SST(社会生活技能訓練療法)ファーストレベル講習会	1

カ 防災関係

キタバあかみね「防災・避難訓練」を実施した。(11月14日)
障がい者が災害時に困ることや、自宅での備えや対策について学ぶ機会となった。

キ 防犯対策

キタバあかみね「防犯訓練」を実施した。(3月7日)
大阪府警察本部生活安全指導班による「わかりやすい、楽しい、防犯教室」を寸劇やパネルなどを用いて特殊詐欺被害防止について学び、防犯について考える機会となった。

ク 意向調査

館内の設備等について意向調査を実施し、今後の施設の管理運営について検討を行った。

ケ 大会参加への支援、独自事業

- ・グラウンドゴルフ大会 (5月15日・10月16日)
- ・ペアグラウンドゴルフ大会 (5月13日・10月7日)
- ・ふれあい卓球大会 (10月21日)
- ・大阪府ボッチャ大会 (11月23日)
- ・ヨガ教室 (毎月第3日曜日)

コ 地域活動支援センターの設置

令和6年度の設置に向けて協議を行った。(7月12日、10月18日、11月15日)
大東市視察(eスポーツ関連 12月6日)

(3) 市立障がい者福祉センター「あかみね」生活介護・通所介護事業

利用者の意思・人格を尊重し、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援計画を作成して、排せつおよび食事、移動の介助、創作的活動または生産活動の機会の提供、その他の便宜を適切かつ効果的に行った。

また、重度心身障がい者や強度行動障がい者および高齢化する障がい者などが安心して利用できるように努め、身体機能の維持や家族などの介護負担の軽減に努めた。

さらに利用者の心身状況への対応については、部屋の整備をし、利用者が移動しやすく過ごしやすい環境づくりを行った。また、関係機関などと連携を図りながら、生活相談も含めスムーズに利用できるように支援した。

(契約者数 21 人[令和 4 年度 20 人])
(1日の利用平均人数：約 10.9 人)

①個別支援計画および通所介護計画の作成

利用者・家族などとの三者懇談を年2回実施し、支援内容・状況を説明するとともに、新たなニーズを支援計画に反映した。また、支援方法や環境設定の見直しにつなげた。

②身体などの介護

日中活動をするうえで必要な排せつ・食事・移動などの介護を行った。また、医療的ケアの必要な利用者に対し、医療的ケアの充実に努めた。

③生産活動

手工芸品（バックやポーチなど）の製作・販売、パソコンでの印刷作業、喫茶の作業を通して、利用者の活動の意欲へつなげた。

ア 手工芸品の販売（「オリーブ」での展示・販売、各種イベント出展）

イ 内職（ごみシール封入作業）

ウ 印刷（名刺65件・カレンダー2件・年賀状15件・チラシ1件、パソコンデータ入力作業2件、宛名ラベル作成作業2件）

エ 喫茶

④創作的活動

毎月、季節を感じ取れる壁面装飾作品を作成し、館内への展示を行った。また、利用者の生活に役立てるため、個人の予定などが分かるような創作カレンダーを作成した。

⑤生活指導（相談・援助など）、レクリエーション

利用者の日常生活上の多様な生活課題について、相談・援助を行った。

また、軽スポーツ、ヨガ、カラオケなどのプログラムとともに、季節を感じられる行事や野菜の収穫や花の植え付けなどを実施した。あかみね主催のイベント時は、開所日とし、楽しめる機会を提供した。

月 日	内 容
4月21日	バリアフリー展 2023
11月16日	芋ほり
12月20日	クリスマス会
1月5日	初詣
2月2日	節分
3月13日	遠足（海遊館）

⑥機能訓練

嘱託医師の指導・助言のもと、利用者の健康管理を行った。また、四天王寺和らぎ苑より理学療法士を派遣していただき、利用者の身体機能および日常生活能力の維持向上に努めた。

⑦生活相談

生活面での向上を図るために、利用者とその家族などに対して、福祉サービスの情報提供や生活に必要な物品購入の支援を行った。

⑧健康管理

嘱託医師の指導・助言に基づき、脈拍・体温・血中酸素濃度・体重測定などを行い、身体の変化に注意し健康管理に努めた。さらに、身体の血行改善を目的に岩盤足浴を実施した。

⑨訪問支援

通所ができない状況になった利用者の自宅へ訪問し、相談・支援などを行った。訪問

ができない場合は、電話にて相談・支援を行った。

⑩送迎サービス

送迎バスを運行し、利用者の利便性の向上を図った。また、送迎バスの故障の際には、送迎体制を一時的に見直すなど臨機応変に対応した。

⑪前各号に掲げる便宜に附帯する便宜

その他日中活動上必要な介護・支援・相談・助言などを行った。

⑫その他必要な事業

ア 虐待防止や権利擁護などについての研修に参加するとともに内部研修を実施した。
令和5年度 職員のスキルアップ研修会などへの参加状況

月 日	開催場所	研修内容	参加人数
8月29日	オンライン研修	「リーダーに求められる役割と人材育成の取り組み」	1
8月31日	キックス	障がい者虐待防止研修会	1

イ 生活介護・通所介護PR活動・啓発

富田林支援学校の体験実習生を受け入れ、支援学校が発行する事業所案内冊子に掲載する事業所情報の提供を行った他、下記イベントなどに参加し生活介護事業のPRや啓発を行った。

- ・つながりフェスタ（6月17日、12月2日）
- ・キタバフェスティバル（7月2日）
- ・あかみねフェスティバル（10月28日）
- ・くろまる福の市（11月11日）
- ・富田林支援学校の福祉事業所説明会（11月8日）
- ・みんなのマルシェ（2月10日、11日）
- ・キタバあかみね作品展・発表会（3月2日）

ウ ボランティア体験プログラムの受け入れ（1名、8月24日）

障がい者とのふれあい、生活介護の仕事に触れる機会を提供した。

5. 法人運営

（1）三役会・理事会・評議員会および委員会の開催と監事監査の実施

①定例三役会の開催

事業推進の意思決定を明確、迅速に行うため正副会長・管理職員による定例会議を毎月1回開催し、社協が抱える課題を把握し解決に向け役員と事務局との意思疎通を図りながら、円滑な法人運営を行った。

三役会の開催状況

会議名	年間開催数	協議事項
定例三役会	12	当該月の事業予定・懸案事項の協議 他

②理事会の開催状況

月 日	会議の名称	審 議 内 容
4月3日	第1回	①常務理事の選定 ②理事の委員会構成
6月2日	第2回	①令和4年度事業報告 ②令和4年度資金収支決算〔監査報告〕 ③令和5年度資金収支予算第1次補正予算(案) ④理事及び監事候補者の選任 ⑤評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集 ⑥評議員選任・解任委員の選任 ⑦定時評議員会の招集事項の承認
6月23日	第3回	①会長の選定 ②副会長の選定 ③常務理事の選定 ④顧問の設置 ⑤理事の委員会構成
7月21日	第4回 【書面審議・報告】	①評議員選任候補者の推薦に関する承認 ②オリーブ(就労継続支援B型)運営規程の改正 ③会長及び常務理事の職務執行状況の報告
3月1日	第5回	①令和5年度資金収支予算第2次補正予算(案) ②令和6年度事業計画(案) ③令和6年度資金収支予算(案) ④定款の変更 ⑤諸規程等の改正 ・ 経理規程の改正 ・ 事務局組織及び職員設置規程の改正 ・ 職員就業規則の改正 ・ 職員の定年等に関する規程の改正 ・ 職員給与規程 ・ 職員退職手当支給規程の改正 ・ 非常勤職員就業規則の改正 ⑥役員等賠償責保険への加入 ⑦第2回評議員会の招集事項に関する承認 ⑧会長及び常務理事の職務執行状況の報告

③評議員会の開催状況

月 日	会議の名称	審 議 内 容
6月23日	定時評議員会	①令和4年度事業報告 ②令和4年度資金収支決算〔監査報告〕 ③令和5年度資金収支予算第1次補正予算(案) ④理事及び監事の選任
3月22日	第2回	①令和5年度資金収支予算第2次補正予算(案) ②令和6年度事業計画(案) ③令和6年度資金収支予算(案) ④定款の変更

		⑤諸規程等の改正(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・ 経理規程の改正 ・ 事務局組織及び職員設置規程の改正 ・ 職員就業規則の改正 ・ 職員の定年等に関する規程の改正 ・ 職員給与規程 ・ 職員退職手当支給規程の改正 ・ 非常勤職員就業規則の改正 ⑥役員等賠償責保険への加入(報告)
--	--	---

④理事・評議員合同会議の開催状況

月 日	会議の名称	内 容
7月27日	理事・評議員合同会議	令和5年度共同募金運動実施計画の協議

⑤委員会の開催状況

月 日	会議の名称	会 議 の 内 容
6月2日	総務委員会	社協だよりNo.127号(7月1日号)の発行
6月20日	評議員選任解任委員会	評議員の選任について(2名)
7月26日	評議員選任解任委員会	評議員の選任について(2名)
8月30日	総務委員会	社協だよりNo.128号(10月1日号)の発行
11月27日	総務委員会	社協だよりNo.129号(1月1日号)の発行

⑥監事監査の実施状況

月 日	会議の名称	内 容
5月18日	令和4年度監査	①令和4年度事業監査 ②令和4年度収入支出会計監査

(2) 理事・評議員等研修の実施

月 日	会議の名称	内 容
7月27日	理事・評議員合同研修会	研修内容：共同募金配分金事業について

(3) 大阪府社協および大阪府市町村社協連合会、河南ブロック市町村社協連絡会への参加および連携

①大阪府市町村社協連合会総会及び臨時総会

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
4月13日	大阪府社会福祉会館	■総会議案 第1号議案 令和4年度事業報告 第2号議案 令和4年度収支決算 第3号議案 令和4年度福祉救援活動資金収支決算 会計監査報告 第4号議案 規約の改正 第5号議案 役員改選
7月6日	国民會館	■臨時総会議案 第1号議案 連合会役員の補充
1月11日	ホテルプリムローズ大阪	新年互礼会 ・令和6年能登半島地震災害の状況と対応について

②会長・事務局長合同会議への参加状況

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
4月13日	大阪府社会福祉会館	<p><大阪府からの報告事項></p> <p>①令和5度におけるDWA Tの取組み等について</p> <p>②ホームレス自立支援施策について</p> <p>③ひきこもり支援体制の構築に向けて</p> <p>④ひきこもり支援センターについて</p> <p>⑤無料定額診療事業について</p> <p>⑥社会福祉法人が実施する地域公益事業への協力について</p> <p><協議事項・報告></p> <p>①府社協事業計画について</p> <p>②令和5年度府社協地域福祉部の重点事業</p> <p>③新型コロナウイルス特例貸付の借受人へのフォローアップ支援について</p> <p>④令和5年度年間スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連合会事業の流れについて ・ 短期インターンシップについて <p>⑤今後の日常生活自立支援事業についての提案</p> <p>⑥その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度年度市町村社協合同顧問弁護士の確認 ・ 令和4年度市町村社協合同顧問弁護士の利用状況調査まとめ
7月6日	国民會館	<p><大阪府からの報告事項></p> <p>①ヤングケアラー支援研修について</p> <p>②依存症対策について</p> <p><協議事項・報告></p> <p>①日常生活自立支援事業あり方検討会議について</p> <p>②大阪府の施策に対する提案と予算に関する要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度に向けた提案、要望案について ・ 施策に対する提案と予算に関する要望に向けた調査及び地区福祉委員会活動および小地域ネットワーク活動実績調査の報告について <p>③災害派遣等について</p> <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連合会会費及び福祉救援活動資金の納入について ・ 中堅職員研修について ・ 短期インターンシップについて ・ 合同顧問弁護士への相談状況確認シートについて
2月8日	日赤大阪府支部	<p><大阪府からの情報提供></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヤングケアラー支援事例集の配布について <p><協議事項・報告></p> <p>①連合会事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度事業計画案 ・ 令和5年度決算見込み及び令和6年度予算案

		<ul style="list-style-type: none"> ・短期インターンシップの実施方法について ②合同顧問弁護士の設置に向けて ③令和6年能登半島地震に関する支援状況について ④近畿ブロック社協災害支援研修について ⑤日常生活自立支援事業ワーキンググループについて ⑥その他 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府介護者(家族)の会連絡会について ・小ネットリーダー研修会について <p><講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ つながり続けるネットワーク～助け上手 <ul style="list-style-type: none"> ・助けられ上手の地域づくり～ <p>講 師 同志社大学名誉教授 上野谷加代子 氏</p>
--	--	---

③事務局長会議への参加状況

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
6月8日	大阪社会福祉指導センター	<p><協議事項・報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ①情勢報告 <ul style="list-style-type: none"> ・全国、大阪の情勢報告 ・地域における公益的な取組の現況報告への記載について ②令和5年度連合会事業の具体化について <ul style="list-style-type: none"> ・重点事業の取組みについて ③大阪府の施策に対する提案と予算に関する要望書について ④日常生活自立支援事業検討会議について ⑤人材確保の取組み(短期インターンシップ)について ⑥災害時における支援体制について ⑦その他
9月7日	大阪社会福祉指導センター	<p><依頼事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ①大阪府共同募金会からの「赤い羽根共同募金」への協力依頼 ②大阪府子ども食費支援事業(第2弾)について <p><協議事項・報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ①台風2号に関する災害派遣について(報告) ②大阪府の施策に対する提案と予算に関する要望書の報告 ③日常生活自立支援事業検討会議メンバーの募集について ④地域福祉支援計画推進分科会の動向について ⑤大阪府社会福祉大会の開催について ⑥大阪府社協会費及び合同顧問弁護士費用の請求について ⑦新年互礼会について ⑧その他

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同顧問弁護士の利用状況調査票(4月～7月)について
11月9日	大阪社会福祉指導センター	<p><大阪府からの報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒートショックの予防について ・ 2025年大阪関西万博ボランティアについて <p><協議事項・報告></p> <ol style="list-style-type: none"> ①大阪府市町村社協連合会事業の進捗状況について ②日常生活自立支援事業の検討について ③令和6年新年互礼会について ④「福祉の就職総合フェア」相談コーナーへの協力依頼について ⑤その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪しあわせネットワーク支援システムについて ・ 大阪しあわせネットワーク充実強化検討チームについて ・ 人材確保取組み座談会の開催について ・ 採用情報の取りまとめについて ・ 短期インターンシップについて

④河南ブロック社協連絡会への参加状況

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
7月28日	松原市役所	河南ブロック担当職員会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各市町村社協の現状と課題 ・ 会長、事務局長、職員合同研修会について ・ 災害時における大阪府内社協間災害VC運営支援者に関する相互支援協定に基づく運営支援者の輪番について ・ 大阪府社協からの情報提供について ・ 社協連絡会年会費について ・ 会長、事務局長会議の日程について ・ その他
8月21日	松原市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪府社協より連絡事項 ・ 各市町村社協の課題 ・ 河南ブロック研修会について ・ その他
2月26日	まつばらテラス(輝)	会長・事務局長・担当者会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業報告について ・ 決算報告について ・ その他 会長・事務局長・職員合同研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域豊穰化と風、水、土、そして種の話～KIITO、プラス・アーツでの活動紹介 講師：永田宏和 氏

(4) 社会福祉施設連絡会との協働

「河内長野市社会福祉施設連絡会」が、市内の37の施設および社協の参画のもと、地域貢献活動を行う連絡会として、幹事会および実務担当者会議で検討を重ね、福祉学習、研修会、災害に対する取り組みなどを行った。また、連絡会加入施設と地域福祉活動団体との連携を強化した。

施設連絡会の事業実績

月 日	場 所	内 容
4月20日	ふれあいの丘・フレッシュながの	令和4年度監査
4月25日	ゆいテラス	第1回幹事会
5月25日	ゆいテラス	令和5年度総会
7月19日	ゆいテラス	第2回幹事会
11月14日	ゆいテラス	令和5年度第1回実務担当者会議および交流会（施設および社協CSWとの交流）
3月12日	ゆいテラス	第3回幹事会

(5) 組織構成会員制の推進

民間企業などの事業者やボランティア団体、住民参加型団体など75の事業所や各種団体に組織構成会員に加入していただき、内43名の方で評議員会が組織され、法人の重要な事項についての議決機関として機能を発揮していただいた。

組織構成会員加入団体名

1	長野第1地区福祉委員会	39	(社福)生登福祉会
2	長野第2地区福祉委員会	40	市民間保育園連絡協議会
3	楠小学校区福祉委員会	41	市身体障害者福祉会
4	三日市地区福祉委員会	42	市心身障害児・者父母の会
5	千代田東地区福祉委員会	43	市視覚障害者福祉会
6	天野小学校区福祉委員会	44	市母子福祉会
7	南花台福祉委員会	45	市遺族会
8	南花台三丁目福祉委員会	46	市原爆被害者の会
9	小山田小学校区福祉委員会	47	精神障害者家族会(わかば会)
10	加賀田小学校区福祉委員会	48	市老人クラブ連合会
11	川上地区福祉委員会	49	市作業所連絡協議会
12	高向小学校区福祉委員会	50	市医師会
13	石仏小学校区福祉委員会	51	市歯科医師会
14	美加の台小学校区福祉委員会	52	市薬剤師会
15	天見地区福祉委員会	53	市青少年健全育成協議会
16	市地域女性団体協議会	54	青少年指導員連絡協議会
17	市商工会	55	市PTA連絡協議会
18	市赤十字奉仕団	56	河内長野防犯協議会
19	河内長野ロータリークラブ	57	(社団)河内長野市シルバー人材センター
20	河内長野東ロータリークラブ	58	府立長野高等学校
21	河内長野ライオンズクラブ	59	清教学園中高等学校
22	大阪長野ワイズメンズクラブ	60	千代田学園
23	河内長野青年会議所	61	市立小中学校校長会

24	大阪いずみ市民生活協同組合	62	私立幼稚園連絡協議会
25	市ボランティア連絡会	63	市献血推進協議会
26	市人権協会	64	大阪南医療センター
27	市企業人権協議会	65	河内長野ガス
28	市民生委員・児童委員協議会	66	南海バス(株)河内長野営業所
29	支部保護司会	67	河内長野公共職業安定所
30	市更生保護女性会	68	河内長野郵便局
31	(社福)聖徳園 ワークメイト聖徳園	69	市国際交流協会
32	(社福)聖徳園 しょうとく園	70	上谷会計事務所
33	(社福)あおぞらの会	71	株式会社 セルビス
34	(社福)つばさの会	72	株式会社 エム・エフ・ケイ
35	(社福)みなと寮	73	大阪南農業協同組合河内長野支店
36	(社福)長野社会福祉事業財団	74	良建ハウス株式会社
37	(社福)博光福祉会	75	(株)エイチ・ツー・オー商業開発イズミヤSC 河内長野
38	(社福)恩徳福祉会		

(6) 賛助会員制の推進

より多くの地域住民の理解と参加、財政的な支援を得て社協活動を展開するため、賛助会員を募集した。

(単位：円)

賛助会員の内訳	令和5年度	令和4年度
社協役員	33,000	53,000
社協職員	136,000	138,000
組織構成会員 ①+②	1,577,000	1,671,000
①理事・評議員選出団体	1,561,000	1,651,000
1. 事務局団体	985,000	1,024,000
2. 市役所(外郭団体を含む)	336,000	338,000
3. 市立小・中学校	95,000	121,000
4. 民間保育園・幼稚園	95,000	108,000
5. 上記1~4以外の団体	50,000	60,000
②理事・評議員選出団体以外	16,000	20,000
組織構成会員以外の法人・事業所 ①~④	275,000	270,000
①民間福祉施設	0	0
②医療施設	30,000	35,000
③関係団体	15,000	0
④事業所	230,000	235,000
個人登録ボランティア	7,000	5,000
福祉機器利用者	0	0
厨房機器利用者	0	0
福祉レクリエーション用品利用者	0	0
登録ヘルパー	5,000	6,000
一般の個人ほか	83,000	115,000
合 計	2,116,000	2,258,000

(7) 広告料収入の増強

社協だよりやホームページに掲載する広告事業者を募集し事業収入の確保を行った。

(8) 善意銀行

善意銀行に対し市民から金品および物品の預託を受け、地域福祉の推進を目的とする施設および団体などに払い出し有効利用した。

善意銀行事業の内訳

預託内容

預託内容	令和5年度		令和4年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
一般預託金	1	5,000	0	0
指定預託金	14	334,439	7	218,124
合計	15	339,439	7	218,124

※その他物品として、食料品、日用品、車いすなど

払出内容

払出内容	令和5年度		令和4年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
一般預託金	0	0	0	0
指定払出金	13	234,439	7	218,124
合計	13	234,439	7	218,124

※食事を通じた居場所づくりを進める市民活動グループ、障がい者福祉センター事業、車いす貸出し事業に払い出しを行った。

(9) 福祉基金事業

昨年度に引き続き国債の利息運用を行った。

国債運用(継続) 20年利付国債 50,000,000円

30年利付国債 50,000,000円

令和5年度末 福祉基金原資積立残高 110,901,000円

	令和5年度		令和4年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
基金指定寄付金	0	0	0	0
諸収入(国債利息)	1	1,475,000	1	1,475,000
合計	1	1,475,000	1	1,475,000

(10) 広報啓発事業

社協事業や地域の福祉活動を多くの市民に理解していただくため、社協だよりの発行やホームページによる情報提供を行った。また、より多くの世代への情報発信として、ソーシャルネットワーキングサービスを利用して情報を公開した。

①かわちながの社協だより

年3回、7月・10月・1月に発行し全戸配布。発行部数 48,200部

②ホームページ(<http://www.kawachinaganoshishakyo.or.jp/>)を随時更新した。

③社協ブログ (<http://ksyakyou.blog90.fc2.com/>)を更新し、日記調で社協事業や福祉委員会活動などの情報をタイムリーに掲載した。

④社協エックス (<https://twitter.com/ksyakyou>)を更新し、日々の社協の動きなどの情報を掲載した。

(11) 福祉人材の確保および人材育成

福祉人材の確保の推進を図るため、積極的に実習生を受け入れるとともに、昨年度に引き続き、短期インターンシップによる大学生の受け入れ登録を行った。また、職員研修計画を充実し、新任職員・中堅職員・管理職等の人材育成およびスキルアップを図った。

令和5年度 職員のスキルアップ研修会などへの参加状況

月 日	開催場所	研修内容	参加人数
4月3・6日	市役所	新規採用職員研修	3
4月14・24・28・5月10・19日	大阪府社会福祉会館・オンライン・大江ビル	市町村社会福祉協議会新任職員研修	3
5月29日・6月12・26日	ゆいテラス	面談技術力アップ連続研修	4
4月20日	大阪府社会福祉会館	新入職員サービスマナーセミナー	2
6月15日	大阪府社会福祉会館	令和5年度スーパーバイザー養成基礎研修	1
6月15日	大阪府社会福祉会館	総合的な福祉教育業務研究会	1
6月19日	富田林保健所	令和5年度精神保健福祉関係職員研修	2
6月20日	市役所	性的マイノリティに配慮した窓口対応等の浸透に向けた職員人権研修	2
6月28日	市役所	河内長野市要保護児童対策地域協議会実務者研修	1
6月29日	大阪府社会福祉会館	共同募金事務担当者打合せ会	2
6月30日、7月6・20日、8月10・22日	オンライン研修	地域福祉コーディネーターのための基礎研修	2
7月18日	レインボーホール（富田林市市民会館）	市町村ヤングケアラー支援担当職員向け研修	1
7月24日	大阪社会福祉指導センター	e コミュニティ・プラットフォーム操作研修会	2
8月10日・9月13日	大阪府咲洲庁舎	ACTを活用した支援を学ぶ研修	1
8月22日	大阪社会福祉指導センター	市町村社協中堅職員研修	2

8月23日	富田林保健所	富田林保健所館内精神保健医療ネットワーク会議 依存症・自殺対策部会 第1回研修会	2
①8月24日 ②9月26日	①動画視聴 ②大阪急性期総合医療センター	令和5年度高次脳機能障がい相談支援従事者研修	1
9月4日	大阪府庁新別館	障害者地域生活拠点事業情報交換会	1
9月22日	大阪府社会福祉会館	第1回本音で語ろう！！情報交換会 2023 点と点を、線にカタチに	3
9月24日	秋葉原コンベンションホール	医療的ケア児等コーディネーター支援協会 全国イベント 2023	1
10月3日	オンライン研修	地域福祉のコーディネータスキルアップ研修専門研修Ⅰ	2
10月4日	SAYAKA ホール	安全運転管理者講習会	1
10月12・13・14日	オンライン研修	成年後見制度利用促進体制整備研修 基礎研修	3
10月27日	ハローワーク	障がい者雇用セミナー	1
10月28・2月3日	大阪府社会福祉会館	令和5年度大阪府市民後見人養成講座（基礎講習）	1
11月1日	市役所	DV 被害者支援連絡会研修会	1
11月2日	国民會館	中核機関設置市連絡会	2
11月6日	大阪狭山市役所	令和5年度 中・南河内地区ブロック生活困窮者自立支援制度研修会	1
11月7日	オンライン研修	河内長野市要保護児童対策地域協議会 実務者研修	3
11月8日	保健センター	自殺対策連絡会「ゲートキーパー養成研修」	2
11月12日	動画視聴	第4回大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会	1
11月17日	オンライン研修	地域福祉のコーディネータスキルアップ研修専門研修Ⅱ	1
11月17日	大阪商工会議所	令和5年度マッセ市民セミナー 成年後見制度利用促進セミナー	2
11月24日	大阪府社会福祉会館	人材確保の取り組み座談会	1
11月28日	市役所	企業人権協議会研修	2
11月29日	オンライン研修	個人情報保護研修会	1
12月14日	かなんぴあ	R5年度2町1村障がい者地域自立支援協議会主催研修会「双極性障害について～全解説～」	1
12月15日	大阪府社会福祉会館	地域福祉のコーディネータスキルアップ研修 専門研修Ⅲ（応用①）	2

12月20日	大阪府社会福祉会館	総合的な福祉教育業務研究会	1
1月11日・2月7日・3月1日	大阪私学会館	障がい者相談支援従事者現任研修	1
1月19・22・23日	オンライン研修	成年後見制度利用促進体制整備研修 応用研修	3
1月17日・22日	大阪私学会館	医療的ケア児等コーディネーター養成 研修・医療的ケア児等支援者養成研修	2
1月26日	オンライン研修	河内長野市要保護児童対策地域協議会 実務者研修	3
2月1日	大阪社会福祉指導センター	地域福祉のコーディネータースキルアップ 研修 専門研修Ⅲ(応用②)	1
2月2日	オンライン研修	成年後見制度利用促進に係る近畿府県情 報交流会	1
2月20日	大阪府咲州庁舎	第2回地域自立支援協議会情報交換会	2
2月20日	国民會館	包括的支援体制の意見交換会	2
2月22日	万葉ホール	防災研修会	2
2月23日	万葉ホール	防災研修会	1
2月26日・27日	エル・おおさか	医療的ケア児等コーディネーター養成 研修(演習)	1
3月14日	国民會館	中核機関設置市連絡会	2
3月16日	堺市総合福祉会館	市民後見・成年後見シンポジウム	1

(12) 人事・労務管理の充実

社会保険関係手続きの電子申請化および勤怠管理システムを導入した。

(13) 社協運営基盤の強化・拡大

誰もが健康に、住み慣れた地域で住み続けられるまちづくりを推進するため、エイチ・ツー・オー リテイリング(株)との連携により、イズミヤ SC 河内長野 4 階に整備された河内長野市地域まちづくり支援拠点において、産学官民の多様な担い手の連携による推進体制のもと、拠点の有効な活用を図るため、コーディネート事業を行った。

①地域まちづくり支援拠点の運営・管理

○いつでもだれでも集える多世代交流の場として、運営・管理を行った。

【開設日】毎日(イズミヤ河内長野店の定休日を除く)

【開設時間】原則として午前9時～午後8時

○多目的室の貸室事業の運営・管理を行うとともに、利用促進を図り、多様な主体による地域活動の活性化を図った。

【利用日】毎日(イズミヤ河内長野店の定休日を除く)

【利用時間】原則として午前9時～午後5時

【貸室利用数】年間901件

○地域まちづくり支援拠点の区分占有者及び、イズミヤ SC 河内長野を運営する(株)エイチ・ツー・オー 商業開発との調整を行い、必要に応じ、関係者による会議などを

開催し、取りまとめを行った。

②地域まちづくり活動のコーディネート

市及び運営協議会のメンバーと連携・協力し、多世代の交流を促進するとともに、健康づくりや生活応援、子育て・教育環境支援など、地域住民主体の多様な取り組みを創出し、地域の課題解決や活性化につなげるため、各種機関・団体へイベントへの参加を募り、連絡調整を行った。

○主な取り組み

実施日	取り組み内容
4月1日～	ラジオ体操（R3.7.1～継続 平日毎日9時45分～）の地域住民への参加呼びかけ
4月2日	ゆいテラスバースデーイベント
6月17日	かわちながのボランティア・市民活動センター主催「つながりフェスタ」（活動団体展示など）
7月30日	市教育委員会主催の子供向けイベント「ゆいテラスのえいご村」・イズミヤSC「えいご村のえんにち」
8月5日	河内長野市政策企画課主催「ゆいテラスの生活辞典」
8月11日	河内長野ライオンズクラブ・イズミヤSC「海のSDGSイベント」
8月21日～27日	かわちながのボランティア・市民活動センター主催「つながりフェスタ」（活動団体展示など）
10月9日	イズミヤSC・長野公園「触れる移動水族館」
10月21日～22日	防災イベント「次世代によるぼうさいキャンプ」

③産・学・官・民の連携促進

市と協力し、地域住民や事業者、教育機関など、多様な主体による連携を促進し、社会実験的な取り組みなどを通じ、地域の活性化や生活利便性の向上を図るため、各種機関・団体との連絡調整を行った。

○地域まちづくり支援拠点参入団体連携会議の開催

年間12回開催（毎月第3木曜日）

○社会実験的な取り組み

実施日	取り組み内容
4月1日～3月31日(通年)	ラジオ体操（平日毎日9時45分～）による地域住民の健康増進および地域の活性化に向けた取り組み
3月27日～4月10日	桃山学院大学美術部による作品展 （内容：フリースペースに絵画作品を展示することによって、ゆいテラスに来る人の楽しみが増えるような仕掛けづくり。）
5月1日～	多目的スペースのフリーWi-Fi開始。貸室利用者の利便性向上を図る。
7月1日～	大多目的スペース利用者にモニター貸出開始。貸室利用者の利便性向上を図る。
9月1日～	ゆいテラス全体のフリーWi-Fi開始。貸室利用者の利便性向上を図る。
8月8日・1月10日	献血の実施による地域住民への呼びかけ